

令和2年度指定（グローバル型）

地域との協働による高等学校教育改革推進事業  
令和3年度研究開発実施報告書 第2年次



島根県立隠岐島前高等学校

# 目次

## 1 構想概要

地域との協働による高等学校教育改革推進事業構想調書	3
---------------------------	---

## 2 研究開発実施報告

令和3年度 研究開発実施計画書（抜粋）	10
令和3年度 研究開発計画および実施報告	12
研究開発計画1：グローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施	
研究開発計画2：国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施	
研究開発計画3：地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施	
研究開発計画4：「伴走者フォーラム」の実施	
研究開発に係る評価	
運営指導委員会記録	

## 3 資料

(1) 構想概念図	37
(2) 事業評価資料	38
(3) 第2学年海外研修代替国内研修生徒発表資料	45

# 1 構想概要



## 地域との協働による高等学校教育改革推進事業構想調書

### 1 研究開発構想名

離島発 「グローバル人材」を育成するための「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究

### 2 研究開発の目的・目標

#### (1) 目的

隠岐島前地域（西ノ島町、知夫村、海士町）に位置する本校がその特色を活かしながら目指すグローバル人材像は、「地球的視野で考えながら、足元から実践していける人材」であり、同時に「ふるさとや地域を思いながら、世界中で実践者として活躍できる人材」である。

本校ではこれを「グローバル人材」と定義し、グローバルセンスとローカルセンスの両方を持ち合わせた実践者として、地域そして世界の人々から「求められる人材、愛される人材」を育成することが本校の使命であると考えた。

本事業構想の第一の目的は、地域との協働により「地域・社会に開かれたカリキュラム」をつくることである。これまでも地域の諸課題をテーマとする「地域課題解決型探究学習」を実施し、シンガポールでの海外研修で成果発表をしてきた。今回はそういった探究学習と各教科をつなぎ、教育内容を相互の関係で捉える「地域未来探究」を構築する。

第二の目的は、チーム学校を超えたチーム地域で「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」に挑むことである。開かれたカリキュラムに必要な人的・物的リソースを、地域内外の叡智を結集して効果的に組み合わせながら活用できる体制を構築する。

#### (2) 達成目標

本事業構想終了時までには、達成目標として次の定量的目標と定性的目標を達成する。

##### ①定量的目標

本校が目指すグローバル人材に必要な力は「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの資質・能力である。卒業までに4つの資質・能力にどのような変化があるか、生徒の「自己能力認識」および「行動実績」を定量的に調査する。

具体的には80項目のアンケート調査を実施し、「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の「自己能力認識」で肯定的意見が70%以上となるよう、「行動実績」では肯定的意見が80%以上となるよう数値目標を設定する。

また、生徒が育つ環境を「安心・安全の土壌」「多様性の土壌」「対話の土壌」「開かれた土

壤」と定義し、生徒および大人（コンソーシアム構成員および本校教職員）にアンケート調査を実施する。具体的には、各土壌における生徒の肯定的意見が 80%以上となるよう、そして大人の肯定的意見が 70%以上となるよう数値目標を設定する。そして、上記調査結果を基に地域との協働のあり方の検討や各教科の授業改善に役立てていく。

## ②定性的目標

生徒たちがチームで取り組む「地域課題解決型探究学習」において、生徒たちが考案し実践した内容が、実際に町役場をはじめとする現場で採用され、地域課題解決や地方創生のアイデアとして活用されることが望ましい。そのためには、生徒たち自身がチームで「気づく」→「考える」→「話し合う」→「実践する（巻き込む）」→「振り返る」→「（再び）気づく」というサイクルを何度も周回する必要がある。このサイクル自体の習得を目標としつつ、探究学習終了後に自らの言葉で探究学習の過程やサイクルについて語れることを目標とする。

サイクル周回の過程で教員側に求められることは、失敗への許容である。失敗をしないよう手助けをするのではなく、挑戦を奨励し、失敗を歓迎し、それでも生徒たちが安心・安全の場で「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの資質・能力を存分に発揮できる環境を構築することを目標とする。

## 3 研究開発の概要

### (1) 研究開発の概要

これまで本校が実施してきた生徒らがチームで挑む「地域課題解決型探究学習」およびシンガポール海外研修での成果発表は継続して実施する。今回の研究開発では、そういった探究学習のプロセスと各教科をつなぎ、教育内容を相互の関係性で捉える「地域未来探究」を構築する。「地域未来探究」では、探究学習に合わせて各教科で島前地域とシンガポールとの比較研究を行うことなどを想定する。これまでも英語科のパフォーマンステストとシンガポールでの最終発表スライドを連携させるなどしてきたが、これを数学や地歴・公民等の複数教科で展開する。そのために必要なリソースを地域内外の叢智を結集して構築する「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」に挑戦する。

### (2) 地域との協働により実施する学習内容と教科・科目における位置付け、相互の関係

教科・科目としては、1年次には「夢探究Ⅰ」を、2年次には「夢探究Ⅱ」を、3年次には「夢探究Ⅲ」、「地域地球学」等の、総合的な探究の時間および学校設定科目を活用して実施する。1年次にはインターンシップも実施する。また、「地域課題解決型探究学習」における導入やメンター役は地域の方々の協力を得ながら実施する。

シンガポール海外研修に向けて、すべての教科で「地域未来探究」として、隠岐島前地域とシンガポールの比較研究等を行う。こうした高校生の経験や学びを地域に循環させるため、地元小中学校との交流事業も「地域未来探究」と称して高校生との交流機会を設ける。

### (3) 他校や他地域への事業成果の普及方策

これまで本校独自で実施してきた「地域・社会に開かれた探究学習成果発表会」は引き続き実施する。また、日常的な探究学習の取組や教科学習との連携は、広くウェブサイト等で周知する。毎年100名近い視察者が訪れる本校の特徴を活かして、視察者に対しても事業成果を広く周知する。

また、連携を念頭に置く地元三町村の小中学校との交流や、包括連携協定校である島根県立大学での大学生との交流等も検討する。また、探究学習における教職員の伴走を探究するため、「伴走者フォーラム」を実施する。

## 4 研究開発の仮説および期待される効果

「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の実現に向けて必要なのは、研究開発の概要でも記載した通り、各教科と探究学習のプロセスをつなぎ、教育内容を相互の関係性で捉えることである。「地域課題解決型探究学習」に取り組む中でも、探究学習と教科学習を別のもので分断して捉えている生徒もおり、カリキュラム・マネジメントにはまだまだ課題がある。これまで取り組んできた「地域課題解決型探究学習」は、他校に情報提供できるレベルに到達しつつあるが、教科学習とつなげて捉えるレベルには到達していない。生徒たちにはつながりを意識させることで、教室で学ぶことと地域活動で体験的に学ぶことの関連性を見出すなど「つなげて考える力・行動する力」を養うことができる。

## 5 研究開発の実施体制

### (1) 管理機関の実施体制

第一に、「県立高校魅力化ビジョン」において、魅力ある高校づくりに学校と地域の協働体制（高校魅力化コンソーシアム）を全ての高校に構築することとしており、コンソーシアムおよび隠岐島前高校の運営に対する伴走者（管理機関の担当スタッフ）を配置するほか、コンソーシアム運営や教員の育成に係る研修等により取組を支援する。

第二に、運営指導委員会の開催により取組の指導・助言を行うとともに、事業の進捗管理を行う。

第三に、コンソーシアム運営支援事業（県単独事業）等による財政支援（申請に基づき最大760万円/校）を行う。

### (2) 運営指導委員会の構成

運営指導委員会は、スーパーグローバルハイスクール事業の運営指導委員からの流れを汲みながら、下記のメンバーで構成する。

氏名	所属・職	備考
藤井 千春 (運営指導委員長)	学校法人早稲田大学 教育・総合科学学術院 教授	本構想全般および研究開発全般に係る指導・助言
山下 一也	公立大学法人島根県立大学 学長代行	地域との協働およびカリキュラムに係る指導・助言
市川 力	一般社団法人みつかる・わかる 代表理事	地域に根ざした探究学習のあり方に係る指導・助言
阿部 裕志	株式会社風と土と 代表 海士町商工会 青年部	地域産業との連携に係る指導・助言
アッシュ ジェームス アレクサンダー	西ノ島町教育委員会 外国語指導助手	隠岐島前三町村連携及び国際連携に係る指導・助言

### (3) コンソーシアムの体制

コンソーシアムは、既にある「島根県立隠岐島前高校魅力化と永遠の発展の会」と「島根県立隠岐島前高校魅力化推進協議会」をベースに再構築し、地域との協働をはじめ、様々なステークホルダーとの協働を推進する。また、本校の「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」を深化・発展させることを念頭に人選を行う。コンソーシアムでは、年度始に当該年度の目標設定を共有し、年に6回程度の会議を設け、進捗状況を報告する。年度末には目標の結果や評価について共有し、次年度以降の指導・助言を受ける。令和3年度のコンソーシアムの構成メンバーは下記の通りである。

機関名	機関の代表者名
島根県教育委員会	教育長 野津 建二
島根県立隠岐島前高等学校	校長 井筒 秀明
公立大学法人島根県立大学	学長 清原 正義
一般財団法人 島前ふるさと魅力化財団	代表理事 大江 和彦
隠岐國学習センター	センター長 竹内 俊博
一般財団法人 地域・魅力化プラットフォーム	代表理事 水谷 智之
海士町	町長 大江 和彦
海士町教育委員会	教育長 平木 千秋
西ノ島町	町長 升谷 健
西ノ島町教育委員会	教育長 扇谷 就二
知夫村	村長 平木 伴佳
知夫村教育委員会	教育長 渡部 真也

### (4) 地域協働学習実施支援員等の配置

地域協働学習実施支援員として、校内に「コーディネーター」を4名配置し、地域課題解決型探究学習やカリキュラム開発に係る授業や打ち合わせに参画する。また授業に必要な地域内外のリソースを学校と結び、「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」実現の一翼を担う。

また、海外交流アドバイザーとして、米国出身の「グローバルコーディネーター」を同じく校内に1名配置し、シンガポール海外研修やブータンやロシア、ミクロネシアへの「グローバル探究」における現地調整や交流事業全般を担う。

#### (5) 事業終了後の取組計画

事業終了に関わらず、さらなる地域との協働を目指し、コンソーシアムとの協働による地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント、コーディネーターとしての地域協働学習実施支援員やグローバルコーディネーターとしての海外交流アドバイザーは自主財源で継続する。

本校は離島という立地上、また地域との協働をベースに立ち上がった高校魅力化の発祥地として、今後の学校経営においても地域との協働は不可欠である。「グローバル人材の育成」はすでに地元町村にも浸透しており、「ふるさとや地域を思いながら、自らや地域の特性を活かし、世界中で実践家として活躍できる人材」の育成に引き続き邁進する。

#### (6) 国の指定終了後の事業経費計画

本構想は、これまで本校が実施してきた体制に基づいて企画しているため、指定終了後も事業は継続可能である。事業経費の資金調達については、今後地元三町村と連携して、ガバメント・クラウドファンディングやふるさと納税を活用するかたちで調達できるよう指定期間内に関係部局にはたらしかけていく。資金調達方法については、積極的に勉強会等に参加し、様々な知見を活用して、事業が永続的に継続できるよう鋭意努力する。

#### (7) 学校の実施体制

本構想の研究開発は、「地域協働推進チーム」を中心に「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」を目指す。卒業後の人材目標を共有しながら、総合的な探究の時間を中心とした教育課程を目指し、週に1度学年部の教員が全員参画で議論する時間を設ける。また、各学年部をつなぐ役割として、主幹教諭およびコーディネーター4名を配置し、学年横断的に連動・協働を促進する。探究学習における教員の役割を「伴走者」と位置づけ、教員の伴走についても探究し、成果発表を実施する。支援体制としては、「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」を実現するため専門家の指導・助言を受ける。

#### (8) 地域協働学習実施支援員の学校内における位置付け・役割、活用方法

地域協働学習実施支援員としてコーディネーターを4名配置する。コーディネーターの役割としては、「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、必要な「地域内リソース」と学校をつなぐことはもちろんのこと、地域外にしかない専門家や起業家、大学教授などの「地域外リソース」と学校をつなぐことを想定する。

また、海外研修における現地調整や交渉などグローバルな活用も想定し、コーディネーター4名の



うち半数以上は TOEIC800 点以上を条件とする。

#### (9) 学校における外部有識者等の支援・活用体制

運営指導委員のメンバーである島根県立大学看護学部の山下一也教授には、本校が目指すグローバル人材に必要な資質・能力を共有しながら、地域との協働に係るフィールドワークや授業構成研究等について、年に1～2回来校いただき指導・助言を受ける。

同じく運営指導委員のメンバーでもある一般社団法人みつかる・わかる代表理事の市川力氏には、「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、総合的な探究の時間と各教科の連携、地域との連携などについて指導・助言を受ける。

早稲田大学の平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）講師の平山雄大先生には、専門領域であるブータン王国と本校の共同探究における指導・助言はもちろんのこと、WAVOC が取り組む「体験の言語化」プログラムの本校での展開について指導・助言を受ける。

#### (10) 定期的な確認や成果の検証・評価等を通じた研究開発の進捗管理や改善の仕組み

生徒の成長に係る定期的な確認については、独自に作成した日々の活動におけるルーブリックや振り返りシート等の活用を通して、生徒の状況を把握しながら授業改善を図っていく。

研究開発における検証・評価については、島根県と協働で開発した「地域・社会に開かれた教育を実現するため」の調査である「高校魅力化評価システム」を活用する。本評価システムは、本校が考えるグローバル人材に必要な力である「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの資質・能力における生徒の「自己能力認識」および「行動実績」を測定するもので、本構想の検証および評価、その後の改善に活用する。

また教員側も、地域課題解決型探究学習において、どのように伴走するのが効果的かを探究する。探究成果については、広く全国に普及できるよう企画・実施する。

## 令和3年度研究開発計画および実施報告



## 令和3年度 研究開発実施計画書（抜粋）

### 1 研究開発名

離島発「グローバル人材」を育成するための「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究

### 2 令和3年度の研究開発実施計画

#### （1）グローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施

スーパーハイスクール事業でも実施してきたグローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業を継続して実施する。プロフェッショナルたちのリーダーシップ、思考力や判断力、課題解決の創造性や粘り強さに触れるだけでなく、人間性や将来のグローバルなビジョンに触れることで生徒自らの現在地を探究する機会とする。

また、生徒が実際に取り組む地域課題解決についてもアドバイスをもらえるような仕組みを構築する。

#### （2）国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施

地域課題と地球規模の課題を「結び付けて」考えるべく積極的に外へ飛び出し、「他流試合」の機会を創出する。昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大幅に計画変更をしたが、今年度は仮に海外渡航ができなかったとしても、ブータン、シンガポール、ミクロネシアとの交流事業を実施し、「グローバル人材」を仮定して国内外での知見や事例をどのように地域に活用するのかについて探究する機会を創出する。

同様に、同世代との交流を通じ将来のビジョンなどに触れることで、多文化協働の基本姿勢や探究力、未知なる世界での主体性を高める契機とする。

#### （3）地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施

昨年度はで実施した総合的な探究の時間と各科目（2～3科目）をつないで実施した「地域未来探究」を、今年度はすべての教科・科目での実施を目指す。昨年度は「英語×理科×郷土料理（和食）」や「古典×保健体育×後鳥羽上皇（和歌）」というかたちで実施したが、今年度も「地域の課題・魅力×複数教科」という位置付けで実施する。また、昨年度は試験的に実施した地元三町村の小中学生の探究学習を高校生がサポートする「（小中高連携型の）地域未来探究」についての実施を検討する。授業構成等の検討は昨年度に引き続き、「地域に開かれたカリキュラム・マネジメント」を前提に、コーディネーターや地域住民等を巻き込んだ形で実施し、次年度以降は今年度の知見を元に全教科での展開を目指す。

#### (4) 「伴走者フォーラム」の実施

昨年度に引き続き、他校や他地域への普及を目的に「伴走者」向けのプログラムを実施する。ただし、あくまでも「事業成果（成功事例）の普及」ではなく、伴走者であり続けるための「問いの普及」を目指し、「地域・社会に開かれた教育課程」を構築するために教職員がどのようにあるべきなのか、生徒たちの探究活動にどのように伴走すべきのかななどを、大人たちがともに探究できる場を構築する。昨年度はフォーラムというかたちで実践したが、今年度はプログラムのかたちで少人数に絞って実施することも検討する。

## 令和3年度 研究開発実施報告

### 研究開発計画1：グローバルに課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業の実施

#### 1. 仮説

グローバルやローカルなフィールドで実際に課題解決を実践するプロフェッショナルによる授業を受講することで、プロフェッショナルたちのリーダーシップ、思考力や判断力に触れることができる。また、自ら（のチーム）が設定する課題でプロフェッショナルたちの事例を用いながら目の前の課題解決に取り組むことで、地域起業家精神を醸成することができる。

また、地域課題と地球規模の課題を「結び付けて」考えるべく積極的に外へ飛び出し、「他流試合」の機会を創出することで、また、同様に、同世代との交流を通じ将来のビジョンなどに触れることで、多文化協働の基本姿勢や、物事の真理に迫る力、グローバルにビジョンを創造する力を高める。

#### 2. 実践

今年度は下表の通りグローバルに課題解決に挑む講師を招聘して授業を実施した。

授業内の講話はもちろんのこと、講話後には様々な課題解決に取り組む生徒らから個別に質問する機会もいただいた。

また、3月に実施予定の「探究学習成果発表会」でも運営指導委員の皆様やゲスト講師としてお越しいただく方々にもご参加いただき、探究学習に対するフィードバックやコメントをいただく予定。

いずれの授業でも、本気で挑戦する大人からいい刺激を受け、個々で取り組むマイプロジェクトへとつなげる生徒が複数みられた。

日程	講演者	所属	活動領域と活動タイトル
5月25日	井上由貴 氏	(株)隠岐牛企画	夢探究Ⅲ 「大人の実践者から学ぶ」
	青山達哉 氏	海士町役場人づくり課	
	増谷実香 氏	海士町役場地産地消課	
	井上太陽 氏	SUN in サイエンス(理科実験教室)	
	佐川菜々子 氏	隠岐島前高校図書館司書	
	佐川洋介 氏	(株)風と土と(トヨタ自動車に在籍)	
	濱中裕代 氏	隠岐國学習センター、あまマーレ	
	野澤知子 氏	株式会社ラボ・非営利型一般社団法人 ありがとう地球	
	吉田公三 氏	菱浦郵便局	
	升谷圭吾 氏	国賀荘	
6月16日	三島秀威 氏	西ノ島町教育委員会	夢探究Ⅰ 「島前人間探究」
	高智 康 氏	知夫村役場地域振興課	

	濱中香理 氏	海士町役場人づくり課	
	小山亜理沙 氏	隠岐デジタルラボ	
	小金井菜都 氏	知夫村教育委員会	
	福田貴之 氏	NPO 法人 しぜんむら	
6月30日	堀口正裕 氏	(株)第一プログレス	地域地球学 「TURNS 堀口正裕氏と考える 地域とのつながり方・伝え方」
7月1日	久保英士 氏	独立行政法人国際協力機構(JICA)	夢探究Ⅰ 「島前人間探究」
	近藤弘志 氏	有限会社まつのや	
	余島睦美 氏	するだわい	
7月7日	小松成美 氏	ノンフィクション作家	キャリア講演会
7月8日	市川 力 氏	一般財団法人 みつかる+わかる	夢探究Ⅰ 「自分の中の雑を集める」
	波多 努 氏	海士町観光協会	夢探究Ⅰ ゲストトーク「ゆさぶれ観光」
	和泉ちをり 氏	和泉荘	
	安達和良 氏	養蜂家(西ノ島町)	夢探究Ⅰ ゲストトーク「なぜ西ノ島町のミ ツバチは復活したのか？」
	柴田照輝 氏	養蜂家(西ノ島町)	
	敷 正彦 氏	知夫村教育委員会	夢探究Ⅰ ゲストトーク「知夫の畜産」
	吉村栄典 氏	住職・島前高校スクールカウンセラー	夢探究Ⅰ ゲストトーク「リラックス」
11月9日	岩本 悠 氏	一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム	学校行事(研修旅行) キャリア講演会「越境」
	税所篤快 氏	E-education 創業者	
	小松成美 氏	ノンフィクション作家	学校行事(研修旅行) キャリア講演会
1月17日	田畑 陽 氏	隠岐國商工会	夢探究Ⅰ 「大人の実践者から学ぶ」
	大村浩之 氏	デロイト・トーマツコンサルティング合同会社 デジタルカスタマー	
	青山達哉 氏	海士町役場人づくり課	
	松浦道仁 氏	焼火神社 宮司	
	笹原風花 氏	ライター・編集者	
	小山亜理沙 氏	隠岐デジタルラボ	
	井出風之介 氏	大学生(卒業生)	
	山口結衣 氏	大学生(卒業生)	
	川本息生 氏	JAしまね知夫支店	
	吉元翔太 氏	海士町役場半官半 X 課	
	岡部有美子 氏	一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム	
3月14日 (予定)	藤井千春 氏	学校法人早稲田大学 教育・総合科学学術院	学校行事 探究学習成果発表会

	市川 力 氏	般財団法人 みつかる+わかる	
	松浦道仁 氏	焼火神社 宮司	
	宮本浩治 氏	岡山大学大学院教育科学研究科	
	水谷智之 氏	一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム	
	奥田麻依子 氏	一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム	
3月15日 (予定)	熊平美香 氏	一般社団法人 21 世紀学び研究所	夢探究Ⅰ・Ⅱ 「より効果的なリフレクション」

以下に実施した授業の一部を抜粋して報告する。

(1)「夢探究Ⅲ」:「大人の実践者から学ぶ」(2021. 05. 25)

生徒は4人程度のグループに分かれて、出身、性別、年齢、経歴全てが多様な10名のゲストの人生についてオンラインで対話型の授業を行った。

はじめに、簡単に各ゲストの経歴について自己紹介していただいた後、生徒からの質問に答える形で進化した。少人数のグループということもあり、熱心に質問したり、ゲストと繋がった iPad に身を乗り出して話を聞いたりしている姿も見られた。



オンラインによる講演会の様子

授業後、参加した生徒から「人生って人それぞれだと思った」、「一見すると違っているけれど、本質は自分が楽しい人生、自分の使命を全うする人生を送ることに全力という面で共通な部分があると思った」、「もともとやりたかったことはともかく、今の仕事にやりがいや楽しみや向上心をもって向き合っている大人はイキイキしてるなと思った。私もそんな大人になりたい。」などの感想がみられた。

(2)「夢探究Ⅰ」:「白熱! 島前人間探究講演会!」(2020. 07. 01)

隠岐島前地域3町村からオンラインでゲストを招き、講演会を実施した。ゲストがそれぞれの町村に「なぜ来たのか」、「そこで何をやっているのか」、「何をしようとしているのか」をもとに講演をしていただき、聴講する中で生徒の頭に浮かんだ「?」を大切にしながら、生徒から講演者へ質問し、ゲストの相手の魅力を引き出していくことに挑戦した。

以下は講演を受けての生徒感想の一部

「ゲストさんは様々な職業に就いていて、多様な経験を積んでいました。内容は多種多様でバラバラだが、現在の知夫での活動に役立っています。そのことから、一見関係なさそうなことでも繋がりを作れることに気づきました。私は、目指していることに直接関係なさそうな事は目を向けてきませんでした。それは、例えば興味があったとしてもです。しかし、どの経験が何につながるのか、役立つ可能性があるのかは無限大だと

わかりました。自分が興味をひかれることに対して、他人の視線を気にして我慢したり、自分自身で制限してしまうのではなく、否定をせずに開放する生き方がとても素敵だと思いました。自分自身に正直に生きることは、自身を成長させることにつながることを学びました。

印象に残っていることは、「コロナで大変なときに、なんとかしようと様々なことを試してみた。でも、どれもパツとしない。何より自分が楽しめていなかったからやめた。」というゲストさんの言葉です。自分が楽しんでやるということの重要性に気づきました。」



オンラインによる講演会の様子

### (3) 研究開発との関連性

グローバル人材に必要な力	要素	関連
主体的行動力	行動力、粘り強さ等	○
多文化協働力	受容力、対話力、共創力等	◎
探究的学習力	批判的思考力、省察力等	
社会的自立力	グローバル意識、社会参画意識	○



## 研究開発計画2：国内外の課題解決実践地域との交流事業の実施

### 1. 仮説

本校の課題解決型探究学習は、居住地域である隠岐島前地域について扱うことがあるが、これだけではグローバルな視点や視座の移動は見込めない。そこで、国内外の課題解決実践地域との交流事業を実施することで、自然と地域外にも目や耳を向け、それが循環するかたちで隠岐島前地域に資することができる。

また、近隣に高校がひとつしかない現状は、多文化協働力を上げる上でデメリットになる。実際に課題解決に向かう同世代や行動し続けている大人との交流を通して刺激を受け、自らの協働力や探究力を高める機会とすることができる。

### 2. 実践

今年度は海外渡航ができない状況の中でも、オンラインでシンガポール、ブータン、ミクロネシア、との交流を実施し、「グローバル人材」を目指して国内外での知見や事例をどのように地域に活用するのかについて探究する機会を創出した。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、第2学年が全員で行く「シンガポール海外研修」の代替として、島根県内でグローバルに触れるプログラムへと変更した。島根県内のローカルを探究しながら、一方で立命館アジア太平洋大学の協力なども得ながらグローバルを体感することで、シンガポールに行った時と同じような「越境体験」を構築することができた。

「グローバル探究（ブータン）」では芸術文化の継承等をテーマとして、選抜された4人の生徒が探究活動を、5月から2月にかけて行った。ブータンの方々との複数回のオンライン交流やインタビューを行い、8月に実施した宿泊型のフィールドワークでは和紙の技術移転でブータンと関係の深い浜田市を訪問するなど、島前地域で行ってきた探究をさらに深める機会となった。

「グローバル探究（ミクロネシア）」では地域医療をテーマとして、選抜された4人の生徒が探究活動を、5月から2月にかけて行った。ミクロネシアの方々との複数回のオンライン交流やインタビューを行うとともに、隠岐島前病院（西ノ島町）の取り組みなど身近な地域医療に関する先進事例を学びながら、同じ離島環境にあるミクロネシアと島前地域との共通課題に対しての探究を進めた。また7月に実施した宿泊型のフィールドツアーでは、雲南市のコミュニティナースなどの取り組みを視察し、県内の先進事例も学びながら考察を深めた。

また、「グローバル探究」における取り組みについて、島前地域内で探究成果発表を実施し、地域への還元活動も積極的に行い、島内の関係者とともこれまでの探究活動での学びを深めることができた。

i) シンガポール海外研修代替研修としての島根県内研修旅行（2021. 11. 8～12）

(1) 旅程

令和3年11月8日～11月12日 4泊5日

	活動	ねらい
11月8日 (月)	<午前：移動> <午後：オリエンテーション> (1) 研修旅行の目的、行程の確認 (2) プレゼンテーションのリハーサル	研修旅行の目的を理解する
11月9日 (火)	<午前：松江市内での英語プレゼンテーション> (1) オンラインコメンテーター 立命館アジア太平洋大学の外国人留学生 30名 <午後：松江市内での講演会/対話会> (1) 対面ゲスト 岩本 悠 氏（地域教育魅力化プラットフォーム） 税所篤快 氏（NPO 法人 e-Education 創業者） (2) オンラインゲスト 小松成美 氏（ノンフィクション作家）	グローバルの視点からこれまでの探究活動や自分自身を見つめ直す
11月10日 (水)	<午前：奥出雲町自然・文化体験研修> 「鬼の舌震」、「たたらと刀剣館」 <午後：奥出雲町体験プログラム（選択型）> (1) 蕎麦打ち体験 (2) 豆腐づくり体験 (3) 座禅体験 (4) バターづくり体験 (5) 畳づくり体験	島根県のローカルの魅力を五感で味わい再発見する
11月11日 (木)	<午前：出雲市内 Feel°CWalk> (1) 出雲神社参拝 (2) 班別行動 <午後：振り返り> (1) 4日間で印象に残った経験 (2) 今後に生かしたい学び	探究的視点で観光地を散策し、互いの気づきや発見を共有するとともに、学年全体の関係の質を深め、4日間の学びをまとめる
11月12日 (金)	<午前：移動> <午後：解散>	

(2) 目的

シンガポール海外研修の本来の目的は、同じ島でありながら真逆の経済発展を目指すシンガポールを訪問することで、真に「グローバルとは何か」を考える契機とすることであった。また、1年次から取り組んできた島前地域の課題解決型学習について、実践結果の報告をする場とし、その内容を英語でまとめ、外国人相手にプレゼンテーションをすることを目的としていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から実現するに至らなかった。しかしながら、島根県に残りながらも宿泊型の

研修を実施し、ローカルに浸かりながら、外国人相手にオンラインで英語プレゼンテーションをし、グローバルに活躍する方々をゲストにお招きすることで、グローバルを往還することを目的と据えた。

### (3) 概要

#### ① 外国人留学生への英語プレゼンテーション

協働的探究学習の授業を通じて取り組んできた「島前の地域課題解決」、「島前の魅力再発見」について、その背景や調査結果、解決策の実践結果を英語でプレゼンテーションする機会を設けた。プレゼンテーションをする相手は立命館アジア太平洋大学の外国人留学生とオンラインでつないでいただき、様々な視点から豊かなフィードバックをいただく時間となった。

生徒たちは、この日の発表や、その後の地域での成果発表会に向けて、地域課題について調査を実施した上で解決策を考案し、解決を図りながらその実践結果をまとめつつ、英語でのプレゼンテーションの準備をしてきた。多忙なスケジュールではあったが、全てのグループが無事にプレゼンテーションを実施することができた。



英語プレゼンテーションの様子

今年度も英語科の授業と連携・協働したプレゼンテーション練習を行い、1学期から長期的に英語発表を意識して準備することができた。実際の英語プレゼンテーションにおける言い回しやデリバリーの観点に関して、英語の授業を通して触れることができたため、後に英語原稿を作成する際に役に立った。また情報科の授業とも連携することで、プレゼンテーションの構成などについても学習をした上で、資料作成を行った。

実際のプレゼンテーションでは、外国人大学生からの広い視野や多彩な経験に基づいてコメントが寄せられ、課題や解決策に対する質問やアドバイスが寄せられた。地域の特性や日本語特有の言い回しについても配慮しながらスライドや原稿を作成したが、その上でも現地大学生にはストレートに伝わらない部分があったことは、両者の文化的背景の違いや、配慮の視点を学ぶ上でよい機会になった。英語での質問についても、事前の想定以外の質問や、聞き取りづらい英語に苦戦していたが、チームメンバーで相談して、即興を交えながら必死に英語で答えようとする姿が見られた。また今回のプレゼンテーションは探究学習全体の中で「中間発表」と位置付け、得られたアドバイスをもとに各自の取り組みを振り返り、島前地域に戻った後の次なる実践につなげることができた。

発表テーマ	生徒チームメンバー
観光船「あまんぼう」の観光活用	青山、太田、生越、小林
島内の空きスペース有効活用	伊藤、清川、北村、藤田
キジを生かした地域の魅力化	鈴木、谷島、茂木
ホスピタルアート	池田、小澤、陰山、元吉
広報誌制作	勝部、高野、齋藤、堀田
外国人への魅力発信	磯谷、岩永、林、野村
海洋ごみアート	菊池、福井、水野、松岡
保護者向け映像制作	小櫻、塩路、浜崎、森下
島の魅力を子ども達と探究	日下、錦織、三角、山本
広報誌制作	尾崎、高橋、長谷川、森下
Island Sweets	鈴木、原田、中島、村尾
隠岐めし（食の魅力化）	徳平、登坂、ムラー、ブルネー
移住者向けガイドブック制作	植田、柔原、笹鹿、関口
お手伝いのマッチン	五十島、野崎、廣瀬、前田
地産地消×購買	井上、船木、山下、横棚

## ② ゲスト講演会(生徒・教職員協働企画)

シンガポールでは、現地日本法人で働いているグローバルに活躍する方々を訪問し、生徒達がインタビューを行ってきた。「グローバル人材の育成」を目指す本校では、地域特性を活用しながらローカルでの活動については取り組みが進んでいる。一方で、グローバルに活躍する人材や、世界で活躍する社会人と接する機会を構築するためである。

今回、シンガポール訪問時と同様にグローバルに活躍をしてきた3名のゲストに登場いただき、実際に活躍する社会人と交流する機会を設けることができた。

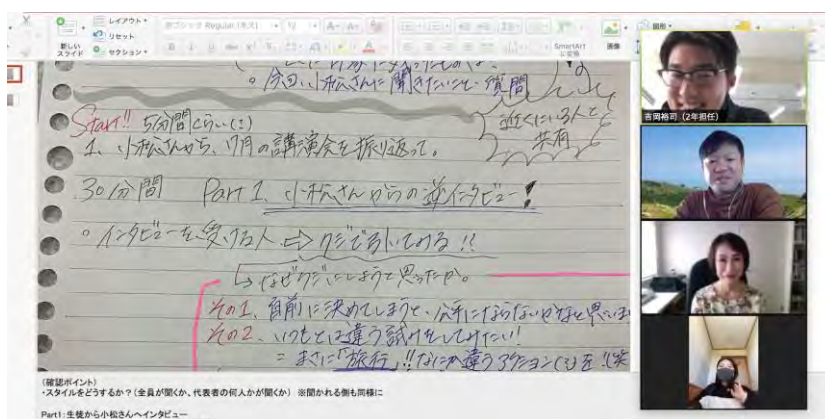
ゲストの一人目は「隠岐島前高校魅力化プロジェクト」の立ち上げに関わり、ブータン王国での教育モデルづくりにも取り組む岩本悠 氏に登場いただいた。ゲストの二人目はバングラデシュでの通信教育事業を立ち上げ、未承認国家であるソマリランドなどでも教育分野で世界的に貢献した税所篤快 氏にご登場いただき、岩本氏と税所氏お二人のクロストークと対話から「越境」することの意義について学びを深めた。そして、三人目にはノンフィクション作家として世界で活躍するアスリートへの取材・執筆を行ってきた小松成美 氏にオンラインで登場いただき、相手の本音を引き出すコミュニケーション技術について様々な事例から学ぶことができた。

また今回は事前に有志の生徒企画者を募り、講演会と対話会の内容を生徒と教職員がとものつくる試みに挑戦した。生徒の目線から学年全体の状況を捉えるとともに、研修旅行全体の中で本企画をどの



岩本 氏による講演の様子

ように位置付けて今後に生かすかをゲストとも対話を重ねた。この過程の中で対話力や共創力を磨くことにつながり、生徒の成長実感にもつなげることができた。



ゲスト講師との事前打合せ（オンライン）の様子

### ③ 奥出雲町での体験プログラム

奥出雲では「鬼の舌震」で豊かな自然を五感で味わうとともに、たたら製鉄の歴史や、砂鉄を採取した跡地が棚田に姿を変えてきた歩みについて学びを深めた。奥出雲の文化的景観が、自然環境と共生し、循環することで保全されてきたことは、今後の隠岐島前地域での探究学習においても生かしたい貴重な着眼点となった。

奥出雲町内での体験プログラムでは、5つのグループに分かれて選択したプログラムの活動を行った。蕎麦打ちのプログラムでは、水車で挽いた奥出雲町産の蕎麦粉を使い、職人



蕎麦打ち体験の様子

さんの指導のもとで体験をさせていただいた。原料のこだわりや、隠岐そばとの違いなどにも触れながら比較探究を行うことができた。



それ以外のプログラムでも、自分の頭で考えるだけでなく、実際に手を動かしてモノをつくり、その過程の中で生まれた問いや考えを他者と対話することで、学びが深まる実感を得る生徒が多く見られた。全体を通じて、身近にありながら今まで触れる機会が少なかった島根県内の暮らしや文化の魅力を再発見することができたことは大きな収穫であり、今後の探究プログラム企画においても生かしていきたいと考える。

## ii) グローバル探究（ブータン）

### （1）目的

ブータン王国と隠岐島前地域に共通する魅力や課題について比較探究することで学びを深めるとともに、地域外やグローバルの視点から得た学びを、隠岐島前地域（ローカル）に還元することで、地域貢献に資することを目的と捉えた。またその過程で生徒が多文化協働力や、粘り強く探究する力を養い、本校が目指す「グローバル人材」に近づくことを狙いとした。上記を踏まえて、今年度は「芸術文化」を探究テーマに設定し、芸術の価値や伝統文化の継承について学びを深めてきた。

### （2）概要

#### ① ブータンとの国際交流(オンライン)

新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外渡航ができない状況の中、オンラインを活用した国際交流を積極的に推進し、ブータンの高校生や、観光ガイドとして働く社会人に、ブータンの社会情勢や今回の探究テーマである芸術や伝統文化に係る内容についてインタビュー調査を行った。民族衣装である「キラ」や「ゴ」が今も日常生活の中に定着している点など、ブータンの文化継承における特色から学ぶ点は多く、それを身近な伝統文化の継承にどのように生かすことができるか継続的に探究を進めてきた。



グローバル探究（ブータン）チームメンバー

またブータンの布を使った小物を制作してフィードバックをもらうなど、創作活動にも積極的に取り組むことで、実際に現地に渡航することが難しい状況の中でも、ブータンの魅力や文化を体感することができた。またブータンで祈りの象徴とされる旗（ルンタ）に、隠岐島前の景観をミックスさせた展示物を作成して文化祭で展示するなど、異文化を織り交ぜることによって新たな魅力を生み出すことにも挑戦してきた。

## ② 島根県内での探究フィールドツアー（浜田市三隅町・大田市大森町）

今回のテーマである芸術文化についての探究をさらに深めていくために、8月に島根県内でのフィールドツアーを実施した。浜田市三隅町では石州和紙の伝統工芸士として長年ブータン王国での技術指導にも携わってきた久保田彰氏の工房を訪問し、ブータンとの交流の歴史についてインタビュー調査を行った。ブータンにある原料を活用し、ブータンの生活文化に根付く和紙の活用方法を模索することなど、和紙の技術がブータンに定着するために行ってきた様々な工夫を学ぶ機会となった。また久保田氏のブータンに対する想いに触れることで、島根県とブータンの友好関係について改めて理解を深めることができた。インタビューの後には久保田氏の指導のもと紙漉きを体験し、和紙の絵葉書を制作するなど、実際に手で触れることで和紙の特徴を知り、活用方法についても想像を膨らませる機会となった。



石州和紙紙漉き体験の様子

また大田市大森町では「石見銀山生活文化研究所」を訪問し、所長の松場登美氏と対話の時間を持たせていただいた。生活文化から発想するライフスタイルを提案し、衣料、生活雑貨の企画から製造販まで手がける「群言堂」の取り組みなどを伺い、日常の暮らしの中に芸術やアートを組み込んでいくことの具体的なイメージを持ち、現場の製造工程も見学させていただくことで、今後の創作実践につながるヒントを得ることができた。また芸術文化や伝統の継承にあたって、次世代の担い手を育てることの重要性や、そのために芸術文化や伝統の価値に触れる機会を地域とともにつくっていくことの必要性を再認識する機会となった。

## ③ 隠岐島前地域での探究活動と学びの還元

ブータンとの国際交流、島根県内でのフィールドツアーで得た学びを生かして探究と創作活動を続けながら、海士町の産業文化祭、地区の公民館で行われた「じげ展」へ制作物を展示するなど、隠岐島前地域への学びの還元を積極的に行った。また制作物を展示するだけでなく、探究テーマの一つである「芸術の価値はどのように決まるのか？」という問いに対してのアンケート調査を展示と合わせて行うことで学びを深めた。

また1月に海士町内で行われた最終成果発表には、30名以上の方に来場いただき、感染症対策に配慮しながらプレゼンテーションと作品展示を行った。発表ではブータンや芸術文化に対して4人の生徒それぞれの捉え方がどのように変容したかなど、半年以上続けてきた探究学習の学びの総括をする機会となった。また日本ブータン研究所の平山雄大氏にもオンラインで参加をいただくなど、今後に向けての助言を多くの方から頂戴することができた。またプレゼンテーションから生まれた

気づきや、新たな問いをもとに参加者の方との対話の時間も取ることによって地域貢献につなげる時間となった。1ヶ月以上に渡る発表会に向けての準備の過程では、チーム内で膨大な学びや情報を整理しながら、粘り強く対話を続けることで、共創する力を高める機会となった。



2022年1月30日「山陰中央新報」掲載記事

### iii) グローバル探究（ミクロネシア）

#### (1) 目的

ミクロネシア連邦と隠岐島前地域に共通する魅力や課題について比較探究することで学びを深めるとともに、地域外やグローバルの視点から得た学びを、隠岐島前地域（ローカル）に還元することで、地域貢献に資することを目的と捉えた。またその過程で生徒が多文化協働力や、粘り強く探究する力を養い、本校が目指す「グローバル人材」に近づくことを狙いとした。上記を踏まえて、今年度は「地域医療」を探究テーマに設定し、住民参加型の健康な地域づくりについて学びを深めてきた。

#### (2) 概要

##### ① ミクロネシア連邦の文化・医療に関する学び

ミクロネシア在住経験のある地域の方へのインタビュー、ミクロネシア現地在住の日本人の方に動画でミクロネシアの町や海を紹介してもらったり、ミクロネシア人の留学生（大学生）たちとオンラインで交流・意見交換をしたりする中で、ミクロネシア人の国民性や生活環境、文化や価値観に触れた。

今回のテーマである医療については、JICA ボランティアとして現地の病院で活動されていた日本人2名から講義を受け、病院は一般内科のみで多くの場合手術ができず、フィリピンやグアムなど国外へ搬送されるケースが多いこと、医療保険などの制度が確立していないこと、車移動が多く、運動不足が課題であることなどを学んだ。





オンライン交流の様子



JICA 元職員からの講義の様子

## ② 島前地域の医療に関する学び

島前地域の医療については、海士町役場と島前病院（西ノ島町）にインタビューした。海士町役場では行政・まちづくりの視点から、地域に根付いた医師の後継者不足、看護師不足といった喫緊の課題と人材確保に向けた取り組み、そして離島だからこそ、1人ひとりに思い入れのある医療を提供できること、在宅医療にも力を入れているということを知った。

島前病院では、緊急時の対応力は本土の病院に劣るため、ヘリ搬送が必要という離島ならではのハンデはあるものの、スタッフと患者の信頼関係が強く、患者が安心できる医療を提供できることが強みであることを知った。

## ③ 雲南市でのフィールドツアー

7月に地域医療を学ぶフィールドツアーとして、島根県雲南市で、雲南市立病院、コミュニティナースカンパニー株式会社、株式会社コミュニティケアの3ヶ所を訪問した。

訪問を終えて、健康の定義が身体的健康、精神的健康に加えて社会的健康まで含むものなのだというを知り、医療を病院の中で完結させるのではなく、地域の中で人とのつながりを作ることも地域医療に関わる取り組みだと感じた。そして、そのような地域住民とのつながりをどの事業所でも大切にしていることが分かった。

また、仕事に誇りを持って楽しみながら挑戦を続けるみなさんの姿もとても印象的だった。オンラインや、学校に招いてのお話ではきっと伝わりきらないであろう熱量を感じ、現地を訪れる価値を改めて感じた。参加生徒からは、「同じ田舎でも島前にはまったく異なる考え方。でもあったらおもしろそうだし、島前ならでき



フィールドツアー事業所訪問の様子

そう。」との感想もあり、近くで気づかされることの多いフィールドツアーとなった。

#### ④ 島前地域での実践と最終発表

西ノ島町の保健師の方に地域の健康に関する課題を教えていただいた中で、車移動が多く、他地域に比べて働く世代が運動不足になりやすいという課題に注目した。島前地域でできる医療が限られていることから、予防医療・健康維持がより重要である。そこで、運動習慣をつけるための第一歩として、家でも毎日できるストレッチを広める「ストレッチ教室」を企画した。西ノ島町で実施した際には、7名の参加があり、「運動の良い機会になった」、「家でもやりたい」、「継続的にやってほしい」といった肯定的な感想を多数いただいた。しかし、このイベントだけでは参加者が少ないこと、1度だけのイベントでは継続が難しいことから、さらに多くの人に広めたり、運動を日常的な習慣にしたりすることが今後の課題として残った。そこで、より身近な人から、日常の中で広めるために、隠岐島前高校の教職員向けに放課後を使い、1週間に3度のストレッチ教室を実施した。

そして、2月に西ノ島町図書館で最終発表会を開催した。探究活動協力者を中心に、オフライン・オンライン合わせて20名程度が参加した。これまでに知ったこと、実践に至るまでの考え、実践を終えてわかったこと、そしてこの1年にわたる探究活動を通して感じたことや自分自身の変化についても発表した。



校内でのストレッチ教室の様子

#### (3) 研究開発との関連性

グローバル人材に必要な力	要素	関連
主体的行動力	行動力、粘り強さ等	◎
多文化協働力	受容力、対話力、共創力等	◎
探究的学習力	批判的思考力、省察力等	◎
社会的自立力	グローバル意識、社会参画意識	◎

## 研究開発計画3：地域課題解決型学習と各教科で取り組む「地域未来探究」の実施

### 1. 仮説

地域課題解決型学習と教科学習にどのようにブリッジをかけるかはスーパーグローバルハイスクール事業での評価にも示された通りである。本事業では「地域未来探究」と称して総合的な探究の時間と教科学習を「クロス・カリキュラム」のようなかたちで設計することで、生徒たちにブリッジを意識させることができる。

また、日常的にコミュニケーションが少ない教科間コミュニケーションの契機となることや若い教員や講師の多い本校の特性を捉えた人材育成やOJTの機会とすることができる。

### 2. 実践

#### (1) 概要

当初の計画通り、カリキュラム・マネジメントを担当する主幹教諭を配置し、教員研修も複数回実施した。今年度の新たな取組としては、昨年度構築した「地域未来探究」の枠組みを継承・発展させ、狙いを絞った教育プログラムの開発を行ったことに加え、教科シラバスに「学習内容と日常生活との関連及び活用が期待される場面」を明記させることにより、教科（科目）間のクロス・カリキュラムが行いやすい環境を整理した。また、主幹教諭・探究学習推進担当者・学校魅力化コーディネーターによる「地域未来探究推進チーム」を編成し、クロス・カリキュラムの計画・実施を推進した。

第1学年に実施する「夢探究Ⅰ（総合的な探究の時間）」と各教科横断で実施した「地域未来探究」では、隠岐島前地域を題材に取り上げ、担当する教科・科目の視点を活かしながら、「仮説の設定」または「検証方法の考察」に的を絞った教育プログラムを開発し、実践した。実践した内容は下表のとおり。

	学習テーマ	関係教科・科目	関係地域
①	海士町における新しい観光とは？	地理・歴史×数学	海士町
②	ニホンミツバチの復活	外国語×家庭	西ノ島町
③	なぜ知夫村の牧畑は衰退したのか？	国語×数学	知夫村
④	癒し	国語×保健・体育	

「①海士町における新しい観光とは？」の活動では、海士町の観光に関わる新聞記事などの資料を歴史の観点で読み解き、観光に関する様々なデータを数学の観点から分析（数学）し、観光振興にどう取り組んだら良いかの仮説を立て、共有した。

「②ニホンミツバチの復活」の活動では、事前に参考資料（英文含む）を読み、次の3つの問いについて考え、共有し、最後に地元養蜂家の方々の話を直接聞くことで、それぞれの仮説を検証した。

問い1：ニホンミツバチ×自然環境

ニホンミツバチは、どのような自然環境を好んで生息するのか？また2013年の時点で、



島前地域で西ノ島にだけニホンミツバチが生息していたのはなぜか？

問い2：②ニホンミツバチ×西ノ島のまち

西ノ島でのニホンミツバチの復活によって、西ノ島のまちや、活動に関わった人たちにはどのような変化や影響が生まれたか？

問い3：ニホンミツバチ×探究

なぜ、地元養蜂家の方々はニホンミツバチの飼育や養蜂をこれまで続けてきたのか？（どのような原動力や想いがあったのか？）



「①海士町における新しい観光とは？」で用いた資料



「②ニホンミツバチの復活」での検証の様子

「③なぜ知夫村の牧畑は衰退したのか？」の活動では、隠岐島前地域に近年まで行われていた「牧畑」の盛衰に関する資料を国語の観点で読み解き、「知夫の牧畑はなぜ盛んだったのか？」という問いに対する仮説・検証のプロセスを、数学の手法である「モデル化」を活用して体験した後に、活動の主題である「なぜ知夫村の牧畑は衰退したのか？」の問いに対する仮説を立て、共有した。

「④癒し」の活動では、「効果的なリフレッシュ方法とは？」という問いのもと、ストレス対処（コーピング）に関する考え方や、精神を沈めるコーピングの体験として、瞑想を体験した後、あらためて「効果的なリフレッシュ方法とは？」という問いに対する仮説を、他者のアイデアを参考にしな



「③なぜ知夫村の牧畑は衰退したのか？」での仮説共有の様子



「④癒し」での活動の様子

がら個々で立て、自らのコーピングを増やしていった。また、週末には、自己が考えたコーピングから、1つ取り上げ、実際に家庭で検証してみた。

いずれの活動も、地元の方をゲストに迎え、具体的な体験談を聞いたり質問をしたりすることを通して、自らが立てた仮説の検証や有用性を確認することができた。また、生徒の感想からは、「実生活と教科学習とが関連していることが、実感を伴って理解することができた」という回答が多くみられた。

教科シラバスに「学習内容と日常生活との関連及び活用が期待される場面」を明記させることにより、教師同士が互いの学習内容を俯瞰的に捉える機会が増え、教科（科目）横断的な授業の企画・実施がしやすくなり、教員の自発的なコラボ授業の機会が増えた。



小単元	学習内容	到達目標	身近な生活との関連 活用が期待される場面
多様性と共通性とは	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生育環境に適応した結果、多種多様な生物がいる</li> <li>・ 全ての生物にはいくつかの共通性がみられる</li> </ul>	全ての生物の共通性を理解し、共通の祖先から誕生したことに気づく	形や性質が多様なものから共通性や特徴を見だし、「分類」に役立てることが期待される
細胞に見られる多様性と共通性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細胞の形質には多様性があるが、基本的な構造は共通している</li> <li>・ 細胞は大きく原核細胞と真核細胞に分けられる</li> </ul>	生物の共通性から、共通の祖先から進化したことや細胞の進化の過程について科学的根拠に基づいて説明できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 肉眼では観察できない微生物はほとんどが細菌類で人間生活との関わりも深い</li> <li>・ 疾病の原因物質であるウイルスは「非生物」であるが生物とともに進化(変異)している</li> </ul>

#### 改訂されたシラバスの一部

次に示すのは今年度行われた（予定含む）コラボ授業の一例である。

#### ・ 金属の歴史を探究する（世界史×化学）

「アルミニウム (Al)、金 (Au)、銀 (Ag)、銅 (Cu)、鉄 (Fe) の中で、単体として利用できるようになった時期が早い順番に並び替えてみると、どんな順番になる？」という問いに対し、個人で仮説と根拠を立て、それぞれの仮説を持ち寄って、チームで協働しながら、化学の授業で学んだイオン化傾向の知識や世界史の資料集なども活用して歴史的な事実を読み解きながら、検証していく学習を展開した。

#### ・ 島にないカラオケ店を出店しよう（地域学習×数学）

「もし島内にカラオケ店をつくるとしたら、どのような料金設定にするか？」という問いに対し、次の3つの選択肢の中から、利用する時間によってどの店を選べば料金が安くすむのか、既習の一次不等式などの基礎知識をベースに様々な方法で検証して説明するという活動。

<3つの選択肢>

①P店：1時間あたり180円

②Q店：1時間あたり50円 + ワンドリンク350円

③R店：フリータイム750円

#### ・ 宇宙エレベーター（外国語×物理）

宇宙エレベーターについての英語長文を読解し、構造物が高度3万6千メートルである必要性を科学的な視点で理解を深める活動。

・ 確立を英語でマナブ（外国語×数学）

集団の中に同じ誕生日の人が少なくとも1ペア存在する確率について、英語長文を読解し、数学的に考察する活動。

・ 金融の歴史とライフプラン（家庭×数学×公民）

金利の推移に関する資料を基に、数学的な視点で福利計算をしたり、当時の生活を想像したりしながら、自己のライフプランを考える活動。

こうしたコラボ授業の実践に加え、「探究学習推進担当者」の発案により、各教科の教材や資料等を設置し、教科（科目）を横断した教員同士の情報交換を促す「Collabo Desk（コラボデスク）」の設置や、「こんな授業があったらいいな」という生徒の意見を募集する「Colla-Box（コラボックス）」の設置が見られるなど、教科（科目）を横断した、効果的な授業づくりの雰囲気が醸成された。



校内に設置された「Colla-Box」

(2) 研究開発との関連性

グローバル人材に必要な力	要素	関連
主体的行動力	行動力、粘り強さ等	○
多文化協働力	受容力、対話力、共創力等	◎
探究的学習力	批判的思考力、省察力等	
社会的自立力	グローバル意識、社会参画意識	○



## 研究開発計画4：「伴走者フォーラム」の実施

### 1. 仮説

事業の成果を発表するのではなく、生徒の探究活動に伴走する大人の挑戦事例や失敗事例を積極的に共有することで、全国の挑戦者や挑戦校を増やすことができ、結果的に公教育のアップデートに資することができる。

### 2. 実践

#### (1) 未来の授業 教科共創探究オンラインイベントの開催

研究開発計画3で説明した「地域未来探究」の取り組みを題材にし、島内外の教育関係者と学び合う機会とするオンラインイベントを11月2日に開催した。当日は県内外から約50名の参加者ととともに、探究的な授業の実施について議論を深めた。本校の取り組み事例の発表の後、参加者からは

- ・地域（社会）と学校の連携をいかに進めるか。
- ・地域を題材にした教科授業をどのようにつくっていくのか。
- ・探究の時間や教科の授業、課外活動などの学びをどのように接続していくのか。
- ・学校一丸で探究を行う雰囲気はどうつくるか。
- ・教科横断の授業を組み立てるアイデアの生み出し方のヒントが知りたい。
- ・「探究的な」とはそもそもどういうことで、どんな要素があれば探究的になるのか。
- ・生徒の「やらされ感」の払拭。
- ・教員の探究とはどんなもので、研究とは何が違うのか。

といった質問やコメントが寄せられ、教員同士が所属を超えて学び合う良い機会となった。



オンラインイベント告知



オンラインイベントの一場面

#### (2) 探究学習成果発表会、探究学習授業公開の開催（予定）

生徒たちの1年間の学びを共有し、振り返る場として、「探究学習成果発表会」を3月14日に以下の内容で実施予定。

### ①実施目的

地域の未来を見据えて、理想の探究のあり方を考える

- ・発表者が、探究学習の発表を通じて成果と今後に向けての課題を見出す
- ・生徒一人ひとりが、今後の探究学習における到達イメージを高める
- ・生徒1人ひとりが、今後の探究学習に生かしたい気づきや学びを見出す
- ・地域の方々に、高校の探究学習の取り組みを知っていただく

### ②内容及び時程

時程	内容	備考
8:45- 8:50	開会挨拶	
8:50- 9:00	導入	目的、グランドルール確認 コメンテーター紹介
9:00-10:00	生徒の全体発表 15分(8分発表/7分質疑)×3組	発表ごとにコメンテーターより コメント
10:00-10:10	感想共有	
10:10-10:15	休憩	
10:15-10:55	大人の全体発表 15分(8分発表/7分質疑)×2組	発表ごとにコメンテーターより コメント
10:55-11:05	講評	
11:05-11:25	休憩・移動	設営変更のため、20分とる
11:25-12:25	ポスターセッション 16展開×15分×3回(10分発表×5分質疑)	1年2年発表と、小学生発表
12:25-12:35	感想共有&コメンテーター講評	会場ごとに実施
12:35-13:30	昼休憩	
13:30-15:00	共創ワークショップ	グループ活動を基本とし、各グループ が選んだ問いについてディスカッション する。 ※問いの例 ・夢探究がもつとこうだったらいいな ・高校生が地域の人と共創してみたい こと ・10年後の自分と島前の関係 ・グローバルにみた島前  ゴールの問い(仮) 地域の未来と高校生の探究
15:00-15:05	閉会挨拶	



③ コメンテーター（予定）

- ・藤井千春 氏（早稲田大学教授 / 地域との協働による高等学校教育改革推進事業委員長）
- ・宮本浩治 氏（岡山大学大学院教育学研究科 准教授）
- ・市川 力 氏（地域との協働による高等学校教育改革推進事業委員）
- ・松浦道仁 氏（魅力化推進協議会 会員）

また、教科（科目）横断的授業を中心とした、「地域未来探究」の取組成果校外に開き、授業デザイン・実践に関する教員の学びの場として、「探究学習授業公開」を3月15日に実施予定。

## 研究開発に係る評価

### 1. 生徒および教職員含む大人へのアンケート調査

研究開発における検証・評価については、島根県と協働で開発した「地域・社会に開かれた教育を実現するため」の調査である「高校魅力化評価システム」を活用する。今年度は1回目調査として「①学習活動（明示的なカリキュラム）」、「②学習環境（学びの土壌：非明示的なカリキュラム）」、「③生徒の自己認識（資質・能力の主観的認識）」、「④生徒の行動実績（資質・能力の発揮）」に関して6月に、第2回調査として「③生徒の自己認識（資質・能力の主観的認識）」、「④生徒の行動実績（資質・能力の発揮）」に関して、調査対象を生徒に限定し、3年生は12月に、1・2年生は2月に実施した。

(1) 1回目調査結果の概略 ※関連資料は p. 38~42

			主体性	協働性	探究性	社会性
高校としての活動指標	③生徒の自己認識	R2年度	64.6 %	78.0 %	63.1 %	69.0 %
		R3年度	<b>69.2 %</b>	<b>79.6 %</b>	<b>65.5 %</b>	<b>73.7 %</b>
	④行動実績	R2年度	76.4 %	75.0 %	67.5 %	69.2 %
		R3年度	<b>78.8 %</b>	<b>79.9 %</b>	<b>69.8 %</b>	<b>70.7 %</b>

「③生徒の自己認識」については、すべての項目で72%以上となることを目指していたが、「協働性」と「社会性」では上回ったものの、「主体性」と「探究性」では目標に及ばなかった。

「協働性」の個別項目を見てみると、「自分とは異なる意見や価値を尊重することができる(90.6%)」や「相手の意見を丁寧に聞くことができる(92.8%)」で高い数値が出た。探究活動の中で他者の意見に耳を傾けながら異なる意見を尊重する活動の成果が出たものとする。

数値が70%に到達しなかった「主体性」や「探究性」の個別項目を見てみると、「自分にはよいところがあると思う(82.7%)」、「現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる(72.7%)」、「うまくいくか分からないことにも意欲的に取り組む(76.7%)」など目標を超えた項目もあったが、「私は自分自身に満足している(54.7%)」という結果から、自分の能力を十分に活かすことができていないと感じる生徒が多いものと推測する。

「社会性」に関わる自己認識は県内他校に比べて肯定的回答割合が高く、校内でも特に1年生の肯定的回答割合が高い。グローバル意識を聞く項目の中でも「地域の課題と世界の課題は関連していると思う(91.2%)」、「将来、見知らぬ土地でチャレンジしてみたい(91.2%)」といった高いスコアから、本校の取り組みの成果が生徒の期待値として現れているものとする。

「④生徒の行動実績」については、全ての項目で80%以上となることを目指していたが、昨年度同様、全ての項目で目標を上回ることができなかった。特に「探究性」については数値が低く出ており、中でも「公式やきまりを習う時、その根拠を自分で考えたり調べたりした(65.5%)」と課題を残した。その一方で、「授業でわからないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いた(80.6%)」、「自

分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた（81.3%）」、「先生、保護者以外の地域の大人と、なにげない会話を交わした（85.6%）」となっており、他者と関わりながら探究性を深めていくことができる一方で、「なぜ」と問を立てながら、確かな根拠を基に論理的に批判的・論理的にじっくり考える力に課題が残る。

調査結果の傾向は昨年度と大きく変わらないが、「③生徒の自己認識」及び「④生徒の行動実績」とともに「主体性」、「協働性」、「探究性」、「社会性」いずれのスコアも昨年度より上昇しており、新型コロナウイルス感染症の影響で（オンライン以外で）グローバル要素を取り入れた事業を十分に推進しにくい環境下においても工夫して取り組んだ成果が現れていると分析する。

## (2) 1回目調査・2回目調査結果の比較 ※関連資料は p. 43~44

「③生徒の自己認識」については、「主体性に関わる自己認識」と「社会性に関わる自己認識」で1・3年生のスコア低下がみられた。特に社会性の地域貢献意識に関する、「将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい」のスコアが両学年とも大きく下がっている。「自己の取り組み成果が地域の政策決定に直接反映されなかった」と言う事実から、こうした回答になったのではないかと推測する。

「④生徒の行動実績」については、概ね高い肯定的回答割合となった。特に2年生スコアの伸びが顕著で、1回目調査で課題としていた、探究性に関わる行動（「授業で、なぜそうなるのかと疑問を持って考えたり調べたりした」、「公式や決まりを習うとき、その根拠を自分で考えたり調べたりした」）結果が伸びたことは、探究的な学習を推進する本講の取組成果が現れたものと分析する。

## 2. グローカル志向の指標

下表は、公益財団法人日本英語検定協会主催の実用英語技能検定受検・合格状況をまとめたものである。過去3年間を比較すると、技能検定へ挑戦する生徒数が増加しており、グローバル・コミュニケーションへの関心の高まりがうかがえる。

		令和3年度				令和2年度				令和元年度			
		1回	2回	3回	合計	1回	2回	3回	合計	1回	2回	3回	合計
2級	合格者	6	1	0	7	2	4	5	11	6		1	7
	受検者	15	6	8	29	9	9	10	28	14		6	20
準2級	合格者	7	2	5	14	4	4	8	16	1	1	4	6
	受検者	16	20	17	53	5	10	24	39	4	2	9	15
3級	合格者	0	3	0	3	0	1	0	1	0		3	3
	受検者	1	5	2	8	1	2	3	6	1		4	5

## 運営指導委員会記録

### 第1回 運営指導委員会

#### (1) 内容

日時： 令和3年7月7日(水) 15:30~17:00

#### 次第： 1. 開会行事

- ① 隠岐島前高等学校校長挨拶
- ② 委員紹介
- ③ 事務連絡

#### 2. 議事・協議

隠岐島前高等学校事業説明

- ① 令和3年度研究開発の概要
- ② 令和3年度研究計画
- ③ 令和3年度実施状況
- ④ その他

#### 3. 閉会行事

#### (2) 運営指導委員からの主な指導・助言

- ・事業効果の検証として、卒業生の追跡ができることよい(何が役に立ったか、どういう事につながったか、どんな事をしたかったか 等)。
- ・教科(科目)横断型授業について、社会人は全ての知識や経験を総合して課題に取り組んでいる。学校では様々な(教科・科目の)掛け算が期待できる。多様なものの見方・考え方が重要。
- ・探究の目的は「共創(社会的な広がり、他者との協業)」にあると思う。

### 第2回 運営指導委員会(予定)

#### (1) 内容

日時： 令和4年3月15日(火) 13:30~15:00

#### 次第： 1. 開会行事

- (1) 隠岐島前高等学校校長挨拶
- (2) 事務連絡

#### 2. 議事・協議

隠岐島前高等学校事業説明

- (1) 令和3年度実施状況
- (2) 令和4年度研究計画
- (3) その他

#### 3. 閉会行事

## 資料



## 鳥根県立「グローバル人材」育成のための「地域・社会に開かれたカリキュラム・マネジメント」の探究





## (2) 事業評価資料

### 令和3年度 高校魅力化評価システム（6月実施）結果

#### How to read 結果の読み取り方

このポータルサイトを、以下の5側面、4領域、3軸により、高校と地域の学びの「いま」と「変化」を読み取ることができます。

5つの側面を  
 → 各校・地域の状態を、「①学習環境」「②学習環境」「③生徒の自己認識」「④生徒の行動実績」「⑤満足度」の5から評価しています。  
 4つの領域から  
 → 各領域を「主体性」「協働性」「探究性」「社会性」の4つの要素・能力に関する軸に分類しています。  
 3つの軸で  
 → 上記のデータを「前年度」「前年度からの推移」「学年軸（学年による違い）」「地域軸（他地域との比較）」の3つの軸で整理しています。

結果に出てくる数字や言葉は次の意味を表しています。

【割合（％）】  
 → 各項目で「4. あてはまる」「3. どちらかといえばあてはまる」という肯定的回答をした割合  
 → 「あてはまらない」「1. ほとんどあてはまる」「2. あてはまる」の回答の平均値  
 → 同じ機会に調査を実施した他校の回答の平均値  
 → （個人IDで紐づけを行い、複数回答を実施した場合に表示）前年と比べて、各領域の回答平均値が上がった回答者の、全回答者に占める割合  
 【他地域】  
 → 回答者全体の平均値

#### Portfolio of sustainable education and community

##### 高校魅力化評価システム 組織診断ポータル

高校名 鳥取県立隠岐高等学校  
 年度 2021年度  
 回答者数 生徒・学生 139 (内取) 1年生 57 2年生 28 4年生 0 5年生 0  
 (非年度) 146 (内取) 1年生 56 2年生 43 3年生 47 4年生 0 5年生 0  
 大人 47 (内取) 教職員 25 (非年度) 大人 43 (内取) 教職員 27

【MEMO】  
 教養目標、育てたい生徒像など

#### Summary 総括表

■ 今回の結果（まとめ）

	主体性	協働性	探究性	社会性
① 学習環境	3	1	3	3
② 学習環境	4	4	4	4
③ 生徒の自己認識	3	3	3	3
④ 生徒の行動実績	3	3	3	3

■ 前回、前々回からの肯定的回答割合の推移（まとめ）

	主体性	協働性	探究性	社会性
① 学習活動	↑	↑	↑	↑
② 学習環境	↑	↑	↑	↑
③ 自己認識	↑	↑	↑	↑
④ 生徒の行動実績	↑	↑	↑	↑

※ 前年からの肯定的回答割合が50%未満→1.50～45%、45%～55%→2.50～40%、55%～65%→3.50～35%、65%以上→4

#### ① 学習活動（明示的カリキュラム）

※ 学年別の回答割合が50%未満→1.50～45%、45%～55%→2.50～40%、55%～65%→3.50～35%、65%以上→4

■ 今回の結果

■ 前回の結果

■ 今回の結果（詳細）

■ 今回の結果（詳細）

※ 前年度は他地域における肯定的回答割合

#### ② 学習環境（学びの土壌：非明示的なカリキュラム）

※ 上段の数値（％：協働）が肯定的回答割合、下段の数値が平均値

■ 今回の結果

■ 前回の結果

■ 今回の結果（詳細）

■ 今回の結果（詳細）

※ 前年度は他地域における肯定的回答割合

#### 【学習活動】（学習環境）読み取り・検討の視点

- ・ 普段の学びや課題、それを学習/克服するための、設備のあり方は？
- ・ 普段から意識して取り組んでいる活動の機会や環境づくりは？その成果は出ていそうか？
- ・ 協働を支えるコア・リーダーとして、どのような役割が必要か？

#### ③ 生徒の自己認識（資質・能力の意識）

※ 学年別の回答割合が50%未満→1.50～45%、45%～55%→2.50～40%、55%～65%→3.50～35%、65%以上→4

■ 今回の結果

■ 前回の結果

■ 今回の結果（詳細）

■ 今回の結果（詳細）

※ 前年度は他地域における肯定的回答割合

#### ④ 生徒の行動実績（資質・能力の発揮）

※ 学年別の回答割合が50%未満→1.50～45%、45%～55%→2.50～40%、55%～65%→3.50～35%、65%以上→4

■ 今回の結果

■ 前回の結果

■ 今回の結果（詳細）

■ 今回の結果（詳細）

※ 前年度は他地域における肯定的回答割合

#### ⑤ 総合的な生徒の満足度（⑤）

生活全体の満足度（0～10で6以上） 66.9%  
 前回、前々回からの推移 ↑  
 高校に対する満足度 87.1%  
 前回、前々回からの推移 ↑

※ 学年別の回答割合が50%未満→1.50～45%、45%～55%→2.50～40%、55%～65%→3.50～35%、65%以上→4

■ 今回の結果

■ 前回の結果

■ 今回の結果（詳細）

■ 今回の結果（詳細）

※ 前年度は他地域における肯定的回答割合

#### 【生徒の行動実績】読み取り・検討の視点

- ・ 生徒に期待する具体的な行動は？
- ・ 生徒の自己認識との関連は？
- ・ 具体的な行動を促すような、学習活動や学習環境づくりはできているか？

#### 【生徒の自己認識】読み取り・検討の視点

- ・ 普段から意識している、育てたい生徒像や、身につけさせたい力に関する期待の結果は？
- ・ 前年からの変化は？その要因として、何が考えられるか？（学習活動、学習環境と関連付けて）
- ・ 今後、意識して伸ばしていきたいと考えられる力は？そのために必要な「次の一手」は？

# Details 詳細結果

## ① 学習活動 (明示的なカリキュラム)

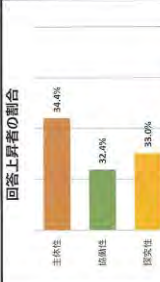
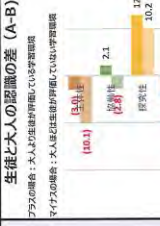




② 学習環境 (学びの土壌：非形式的なカリキュラム)

項目	生徒の認識 (A)		生徒の認識 (A)		生徒の認識 (A)		生徒の認識 (A)		大人の認識 (大人全体の評価) (B)		大人の認識 (大人全体の評価) (B)		生徒と大人の認識の差 (A-B)	
	割合 (%)	平均値 (pt)	割合 (%)	平均値 (pt)	割合 (%)	平均値 (pt)	割合 (%)	平均値 (pt)	割合 (%)	平均値 (pt)	割合 (%)	平均値 (pt)	割合 (%)	平均値 (pt)
10pt以上の増加 ● 0~10ptの増加 ● 減少 ●														
<b>主体性に関わる学習環境</b>														
20 失敗してもいい安全・安心な雰囲気がある	81.3%	6.36	85.1%	9.47	34.4%	81.6%	88.0%	86.9%	88.1%	13.67	95.2%	15.94	-0.3pt	-7.4pt
21 挑戦する人に対して、応援する雰囲気がある	87.8%	11.43	81.3%	2.69	35.9%	84.2%	77.8%	82.1%	22.12	96.0%	21.93	-5.9pt	-14.7pt	
33 目標や得意分野をもち、挑戦している人がいる	90.6%	3.52	-2.73	29.5%	82.5%	82.5%	89.3%	89.3%	5.64	96.0%	14.52	-1.6pt	-8.2pt	
34 地域に、尊敬している、憧れている大人がいる	71.9%	5.03	10.60	32.1%	87.7%	94.4%	89.3%	89.3%	17.27	96.0%	14.52	-1.3pt	-5.4pt	
30 人の挑戦に関わらせてもらえる機会がある	87.8%	0.71	15.83	30.8%	71.9%	72.2%	71.4%	71.4%	-	-	-	-	-	-
26 自分何かに挑戦しようと思えば、周りは手を差し伸べてくれる	91.4%	10.37	27.82	46.2%	96.3%	92.9%	92.9%	92.9%	13.21	92.0%	17.93	4.8pt	-4.2pt	
<b>協働性に関わる学習環境</b>														
22 人と通うことが尊重される雰囲気がある	87.2%	7.26	8.58	32.4%	89.4%	89.4%	89.3%	89.3%	10.09	96.0%	10.81	-0.1pt	-4.5pt	
23 あかまの自分が尊重される雰囲気がある	88.5%	9.04	8.93	34.6%	84.2%	92.6%	89.3%	89.3%	6.62	90.0%	5.74	2.1pt	-2.8pt	
27 自分と異なる立場や役割を持つ人との関わりがある	84.2%	6.78	2.20	29.5%	82.5%	83.3%	89.3%	89.3%	-2.28	88.0%	2.81	9.7pt	-3.8pt	
28 立場や役割を超えて、協働する機会がある	90.6%	5.72	8.80	29.5%	86.0%	94.4%	92.9%	92.9%	-0.74	84.0%	2.52	7.7pt	6.6pt	
<b>探究性に関わる学習環境</b>														
17 本音本意を率直に発言できる雰囲気がある	84.2%	5.06	3.46	33.0%	80.3%	87.0%	86.6%	86.6%	7.32	74.0%	6.41	12.9pt	10.2pt	
18 将来のことや実現したいことを話し合う大人がいる	82.0%	3.25	-1.44	33.3%	84.2%	77.8%	85.7%	85.7%	9.01	56.0%	7.85	28.8pt	26.0pt	
24 周りの大人は、しつこく話を聞き、考える手助けをしてくれる	87.1%	8.73	3.05	26.9%	78.9%	82.1%	82.1%	82.1%	-2.08	72.0%	-5.78	9.7pt	10.0pt	
31 お互いに思いやりあふれる機会がある	85.6%	2.12	0.53	32.1%	80.7%	92.6%	89.3%	89.3%	10.69	80.0%	5.93	1.9pt	7.1pt	
<b>社会性に関わる学習環境</b>														
19 地域から大切にされている雰囲気を感じる	86.5%	7.40	17.52	36.2%	81.1%	90.3%	90.2%	90.2%	15.38	97.0%	19.22	-4.4pt	-10.5pt	
25 興味を持ったことに対してすぐに挑戦してもらえる大人がいる	90.6%	10.51	8.01	35.9%	87.7%	92.6%	92.9%	92.9%	16.87	96.0%	21.93	-3.0pt	-5.4pt	
29 地域の人や専門家としっかりと関わる機会がある	88.5%	7.67	12.75	42.3%	82.5%	90.7%	92.9%	92.9%	16.87	100.0%	22.22	-5.1pt	-11.5pt	
32 自分から地域を、外からの視点で考える機会がある	86.3%	3.45	23.95	26.9%	78.9%	90.7%	92.9%	92.9%	8.16	96.0%	14.52	-0.9pt	-9.7pt	
	80.6%	7.97	25.38	39.7%	75.4%	85.2%	82.1%	82.1%	19.59	96.0%	18.22	-8.8pt	-15.4pt	

\*大人の自己評価は、120人用シートで確認いただけます。





3 生徒の自己認識（資質・能力の主観的認識）

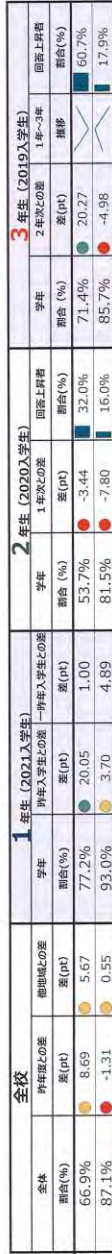
項目	全校		1 年生（2021入学生）		2 年生（2020入学生）		3 年生（2019入学生）	
	割合(%)	差(PT)	割合(%)	差(PT)	割合(%)	差(PT)	割合(%)	差(PT)
③ 10以上の増減 ● 0-10%の増加 ● 減少								
主権性に関わる自己認識	69.2%	4.69	75.2%	16.07	65.0%	5.89	36.8%	-2.26
【自己肯定感・自己有用感】	68.7%	9.12	74.6%	20.10	63.0%	8.50	67.9%	8.55
49 自分にはよいところがあると思う	82.7%	10.13	86.0%	14.54	81.5%	10.05	32.0%	1.83
50 私は、自分自身に満足している	54.7%	8.10	63.2%	25.66	44.4%	6.94	30.0%	15.28
【課題設定力】	72.7%	0.74	75.4%	11.15	70.4%	6.08	46.0%	10.7%
37 現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	72.7%	0.74	75.4%	11.15	70.4%	6.08	46.0%	10.7%
【行動力】	61.2%	7.38	72.8%	27.27	55.6%	10.02	38.0%	-4.11
38 目標を設定し、確実に行動することができる	61.2%	6.36	70.2%	21.96	57.4%	9.19	50.0%	-3.49
51 自分自身を立てて活動することができる	61.2%	8.41	75.4%	32.58	53.7%	10.85	38.0%	-4.73
【粘り強さ】	74.5%	1.52	78.1%	5.75	71.3%	-1.03	32.0%	-1.20
35 まわりの人がない場合にも主体的に取り組む	83.5%	6.74	86.0%	5.61	81.5%	1.12	26.0%	5.40
45 忍耐強く物事に取り組むことができる	65.5%	-3.71	70.2%	5.89	61.1%	-3.17	38.0%	-7.81
協働性に関わる自己認識	79.6%	1.59	83.1%	5.21	75.0%	-2.90	24.8%	4.51
【寛容力】	90.6%	-1.13	93.0%	1.91	90.7%	-0.33	20.0%	-7.31
41 自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	90.6%	-1.13	93.0%	1.91	90.7%	-0.33	20.0%	-7.31
【対話力】	92.8%	1.02	91.2%	-3.41	92.6%	-2.05	22.0%	5.73
40 相手の意見を丁寧に聞くことができる	64.4%	4.46	72.8%	16.56	57.4%	1.16	27.0%	-2.08
【表現力】	73.4%	6.26	78.9%	12.88	68.5%	2.45	26.0%	3.99
47 自分の考えをしっかりと相手に伝えることができる	55.4%	2.66	66.7%	20.24	46.3%	-4.76	28.0%	-8.14
48 友達の前で自分の意見を発表することを目指す	70.5%	2.01	75.4%	5.80	59.3%	-10.38	30.0%	21.68
【共創力】	65.5%	2.43	69.7%	13.71	60.9%	4.85	34.1%	-0.31
42 共同作業など、自分の力が発揮できる	73.9%	6.51	82.5%	21.74	64.8%	4.10	29.3%	2.49
【学びの意欲】	76.3%	5.33	78.9%	28.95	57.4%	7.41	28.0%	67.9%
36 家で家で、誰かに言われなくても自分から勉強する	77.0%	8.45	82.5%	16.38	70.4%	4.30	34.0%	-1.74
58 授業を対外的に学習し、授業中に積極的に参加している	77.0%	5.75	86.0%	19.89	66.7%	0.60	26.0%	6.48
64 学習を通じて、自分自身に成長を感じている	74.1%	-0.54	73.7%	15.65	67.9%	11.64	38.0%	-8.89
【情報活用能力】	60.4%	1.50	67.3%	11.15	51.9%	0.07	32.0%	-9.22
43 情報や、勉強したことを使って理解できる	45.3%	-2.58	45.6%	9.90	42.6%	6.88	42.0%	5.81
44 勉強したものを実際に活用している	75.5%	4.31	77.2%	7.55	72.2%	2.58	30.0%	-0.50
【読解力】	75.5%	4.31	77.2%	7.55	72.2%	2.58	30.0%	-0.50
39 複雑な問題を順序立てて考えることができる	73.7%	4.76	80.2%	12.11	68.0%	-0.10	21.3%	-0.85
46 自分を客観的に理解することができる	71.5%	7.54	79.5%	17.63	65.4%	3.53	24.7%	-3.10
【社会性に関わる自己認識】	61.9%	13.24	68.4%	23.78	55.6%	10.91	26.0%	7.23
62 将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい	76.3%	6.40	84.2%	12.78	74.1%	2.65	20.0%	-12.46
53 地域をよりよくするため、地域の課題に関わりたい	76.3%	2.97	86.0%	16.32	66.7%	-2.98	28.0%	-4.07
55 将来、自分の住んでいる地域に立派なビルを建てたい	66.9%	4.46	83.0%	9.23	76.5%	2.73	20.7%	-2.16
54 私が関わることで、社会状況が変えられるかもしれない	84.2%	10.74	93.0%	14.82	83.3%	4.76	20.0%	7.39
59 地域や社会での問題やできごとに関心がある	84.2%	5.41	93.0%	16.79	83.3%	4.76	20.0%	-13.54
52 18歳選挙権を取ったら、選挙に行きたい	72.2%	2.55	78.4%	10.51	64.2%	-3.66	22.7%	1.36
【グローバル意識】	84.2%	4.04	91.2%	10.87	79.6%	-0.73	24.0%	-7.48
56 地域の課題と世界での課題は関連していると思う	85.6%	6.16	91.2%	16.23	74.1%	7.89	26.0%	10.38
61 将来、見聞が広くなる地域で働きたいと思う	72.7%	-2.55	78.9%	4.42	50.1%	-9.33	18.0%	1.16
60 将来、自分の住んでいる地域で働きたいと思う	68.3%	4.51	78.9%	11.07	65.7%	-3.01	17.0%	0.50
【地域文化や暮らし】	77.0%	1.91	80.7%	14.63	61.1%	-4.96	22.0%	-14.95
57 地域文化や暮らしを、自分の手で未来に伝えたい	77.0%	7.12	78.9%	7.52	70.4%	-1.06	12.0%	15.95
65 自分の将来について明るい希望を持っている								



④ 生徒の行動実績（資質・能力の発揮）



⑤ 総合的な生徒の満足度



補足・追加設問

設問	全校 (2021入学生)		1年生 (2021入学生)		2年生 (2020入学生)		3年生 (2019入学生)	
	割合 (%)	数 (pt)	割合 (%)	数 (pt)	割合 (%)	数 (pt)	割合 (%)	数 (pt)
76 国際社会の課題解決に貢献したい	66.2%	10,71	78.9%	16,42	78.9%	16,42	78.9%	16,42
77 まだ世の中には新しい技術やサービスを生み出していない	52.5%	2,52	66.7%	14,88	44.4%	-7,34	39.3%	-11,88
78 客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることできる	51.8%	7,28	57.9%	20,39	50.0%	12,50	42.9%	-10,63

令和3年度 高校魅力化評価システム 「③生徒の自己認識」「④生徒の行動実績」結果比較

③ 生徒の自己認識（資質・能力の主観的認識）		1年生	2年生	3年生	
<b>主体性に関わる自己認識</b>					
【自己肯定感・自己有用感】					
49	自分にはよいところがあると思う	1回目	86.0%	81.5%	78.6%
		2回目	77.2%	81.6%	84.2%
50	私は、自分自身に満足している	1回目	63.2%	44.4%	57.1%
		2回目	52.6%	53.1%	47.4%
【課題設定力】					
37	現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる	1回目	75.4%	70.4%	71.4%
		2回目	73.7%	77.1%	76.3%
【行動力】					
38	目標を設定し、確実に行動することができる	1回目	70.2%	57.4%	50.0%
		2回目	63.2%	69.4%	68.4%
51	自分で計画を立てて活動することができる	1回目	75.4%	53.7%	46.4%
		2回目	49.1%	63.3%	63.2%
【粘り強さ】					
35	うまくいかからないことにも意欲的に取り組む	1回目	86.0%	81.5%	82.1%
		2回目	82.5%	73.5%	76.3%
45	忍耐強く物事に取り組むことができる	1回目	70.2%	61.1%	64.3%
		2回目	70.2%	73.5%	71.1%
<b>協働性に関わる自己認識</b>					
【受容力】					
41	自分とは異なる意見や価値を尊重することができる	1回目	93.0%	90.7%	85.7%
		2回目	93.0%	91.8%	86.8%
【対話力】					
40	相手の意見を丁寧に聞くことができる	1回目	91.2%	92.6%	96.4%
		2回目	91.2%	89.8%	86.8%
【表現力】					
47	自分の考えをはっきり相手に伝えることができる	1回目	78.9%	68.5%	71.4%
		2回目	78.9%	75.5%	76.3%
48	友達の前で自分の意見を発表することは得意だ	1回目	66.7%	46.3%	50.0%
		2回目	59.6%	57.1%	60.5%
【共創力】					
42	共同作業だと、自分の力が発揮できる	1回目	75.4%	59.3%	82.1%
		2回目	68.4%	63.3%	76.3%
<b>探究性に関わる自己認識</b>					
【学びの意欲】					
36	家や寮で、誰かに言われなくても自分から勉強する	1回目	78.9%	57.4%	67.9%
		2回目	70.2%	75.5%	60.5%
58	地域を対象とした課題探究学習に熱心に取り組んでいる	1回目	82.5%	70.4%	75.0%
		2回目	69.6%	69.4%	68.4%
64	学習を通じて、自分がしたいことが増えている	1回目	86.0%	66.7%	78.6%
		2回目	82.5%	79.6%	73.7%
【情報活用能力】					
43	情報を、勉強したことに関連づけて理解できる	1回目	75.4%	75.9%	67.9%
		2回目	73.7%	89.8%	78.9%
44	勉強したものを実際に応用してみる	1回目	71.9%	51.9%	53.6%
		2回目	68.4%	65.3%	68.4%
【批判的思考力】					
39	複雑な問題を順序立てて考えることが得意だ	1回目	45.6%	42.6%	50.0%
		2回目	42.1%	42.9%	42.1%
【省察力】					
46	自分を客観的に理解することができる	1回目	77.2%	72.2%	78.6%
		2回目	77.2%	67.3%	78.9%
<b>社会性に関わる自己認識</b>					
【地域貢献意識】					
62	将来の国や地域の担い手として、積極的に政策決定に関わりたい	1回目	68.4%	55.6%	60.7%
		2回目	47.4%	61.2%	34.2%
53	地域をよりよくなるため、地域の問題に関わりたい	1回目	84.2%	74.1%	64.3%
		2回目	78.9%	75.5%	55.3%
55	将来、自分の住んでいる地域に役に立ちたい	1回目	86.0%	66.7%	75.0%
		2回目	75.4%	69.4%	68.4%
【社会参画意識】					
54	私に関わることで、社会状況が変えられるかもしれない	1回目	70.2%	63.0%	67.9%
		2回目	63.2%	67.3%	42.1%
59	地域や社会での問題やできごとに関心がある	1回目	93.0%	83.3%	67.9%
		2回目	80.7%	85.7%	60.5%
52	18歳選挙権を取得したら、選挙に行くとと思う	1回目	86.0%	83.3%	85.7%
		2回目	93.0%	83.7%	78.9%
【グローバル意識】					
56	地域の課題と世界での課題は関連していると思う	1回目	91.2%	79.6%	78.6%
		2回目	70.2%	85.7%	89.5%
61	将来、見知らぬ土地でチャレンジしてみたい	1回目	91.2%	74.1%	96.4%
		2回目	82.5%	81.6%	81.6%
60	将来、自分のいま住んでいる地域で働きたいと思う	1回目	52.6%	38.9%	50.0%
		2回目	43.9%	46.9%	42.1%
【持続可能意識】					
57	地域文化や暮らしを、自らの手で未来に伝えたい	1回目	80.7%	61.1%	57.1%
		2回目	75.0%	71.4%	53.3%
65	自分の将来について明るい希望を持っている	1回目	78.9%	70.4%	85.7%
		2回目	68.4%	83.7%	76.3%



















④ 生徒の行動実績（資質・能力の発揮）		1年生	2年生	3年生	
<b>主体性に関わる行動</b>					
68	授業で分からないことを、自分から質問したり、分かる人に聞いた	1回目	80.7%	79.6%	82.1%
		2回目	86.0%	89.8%	86.8%
71	授業で興味・関心を持った内容について、自主的に調べ物を行った	1回目	75.4%	77.8%	78.6%
		2回目	77.2%	81.6%	71.1%
<b>協働性に関わる行動</b>					
69	自分の考えについて、様々な人に意見やアドバイスを求めた	1回目	86.0%	79.6%	75.0%
		2回目	82.5%	83.7%	84.2%
70	友人などから、意見やアドバイスを求められた	1回目	87.7%	72.2%	71.4%
		2回目	86.0%	87.8%	73.7%
<b>探究性に関わる行動</b>					
72	授業で「なぜそうなるのか」と疑問を持って、考えたり調べたりした	1回目	75.4%	70.4%	78.6%
		2回目	78.9%	83.7%	73.7%
73	公式やきまりを習う時、その根拠を自分で考えたり調べたりした	1回目	78.9%	61.1%	46.4%
		2回目	71.9%	75.5%	52.6%
<b>社会性に関わる行動</b>					
66	いま住んでいる地域の行事に参加した	1回目	56.1%	66.7%	64.3%
		2回目	86.0%	85.7%	78.9%
67	地域社会などでボランティア活動に参加した	1回目	66.7%	64.8%	60.7%
		2回目	80.7%	77.6%	73.7%
74	先生、保護者以外の地域の大人と、なげない会話を交わした	1回目	89.5%	83.3%	82.1%
		2回目	89.5%	89.8%	76.3%

⑤ 総合的な生徒の満足度		1年生	2年生	3年生	
75	今の生活全般に対する満足度	1回目	77.2%	53.7%	71.4%
		2回目	73.7%	67.3%	68.4%
63	この学校に入ってよかったと思う	1回目	93.0%	81.5%	85.7%
		2回目	91.1%	89.8%	86.8%

補足・追加設問		1年生	2年生	3年生	
76	国際社会の課題解決に貢献したい	1回目	78.9%	57.4%	57.1%
		2回目	70.2%	69.4%	52.6%
77	まだ世の中になく新しい技術やサービスを生み出してみたい	1回目	66.7%	44.4%	39.3%
		2回目	54.4%	49.0%	52.6%
78	客観的な証拠に基づき考え、判断する科学的視点から課題解決にあたることができる	1回目	57.9%	50.0%	42.9%
		2回目	52.6%	53.1%	42.1%

(3) 第2学年海外研修代替国内研修生徒発表資料

<p><b>Underwater Observation Ship Amanbo</b></p> <p>Dream Exploration Group Members Aoyama Koki Ohta Kenta Ogoshi Haruka Kobayashi Kyoko</p> 	<p><b>Aoyama Koki</b></p> <p>From: Sapporo, Hokkaido</p> <p>I'm sure you will want to ride it too!</p> 	<p><b>Ogoshi Haruka</b></p> <p>From: Ohta, Shimane</p> <p>We are going to announce about Amanbo. Let's take a ride on it!</p> 	<p><b>Kobayashi Kyoko</b></p> <p>From: Tome, Miyagi</p> <p>Please feel the charm of the Amanbo!!</p> 
<p><b>Ohta Kenta</b></p> <p>From: Okayama City, Okayama Prefecture</p> <p>I'll do my best, so please listen.</p> 		<p><b>Underwater Observation Ship Amanbo</b></p> <p>A vessel that allows underwater observation from inside the ship.</p> <p>Naoto → You can see the noctiluca (fish, etc.) Night → Marine photography Seasonal Time, and Weather You can see various scenery!</p> 	<p><b>Under the Influence of COVID-19</b></p> 
<p><b>【Revitalizing the Amanbo!】</b></p> <p>We want everyone to experience riding the Amanbo, which can only be experienced in Ama Town!</p> 	<p><b>SABURQUIMA</b></p>  	<p><b>The charm of night cruise ship</b></p> 	<p><b>MORNING</b></p>  <p>•We can see a 180 degree difference from daytime to nighttime.</p> <p><b>NIGHT</b></p>  <p>•The noctiluca looks like the night sky.</p> <p>•The appearance of the noctiluca depends on the movement of the ship.</p>
<p><b>About Noctiluca</b></p> <p>* The background is Noctiluca</p> 	<p><b>Finally</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>•Noctiluca emits light when physically stimulated.</li> <li>•Noctiluca has no gender.</li> <li>•To see the noctiluca, we need to throw a stone in the sea or to ride the Amanbo.</li> </ul>	<p><b>What can we do?</b></p> <p>↓</p> <p><a href="#">We can give a night tour on the Amanbo!!</a></p>	<p>We want many people to know about the night cruise!</p> 

\*About 20 people  
(Almost full)

\*Children, Students, adults  
Many people came!

**Customers' comment**

- The guide was good.
- It was a valuable experience!
- We were impressed when we saw the noctilion for the first time!
- We were able to talk with the people we rode with, and we were able to meet a lot of people.

**But**

**As many as 60% of people got on for the first time for our tour!**

How many times have you boarded?

Frequency	Percentage
First time	62.5%
Two times	27.5%
Three times	10%

**Everyone, please try riding the Amanbo!**



**What we learned from our activities**

**75% of people boarded the night cruise for the first time!**

Have you ever boarded the Amanbo at night?

Frequency	Percentage
First time	75%
Two times	25%
Three times	0%



**Everyone who boarded this time knew about the existence of the Amanbo!**

Did you know Amanbo before participating in this project?

Response	Percentage
Yes	100%
No	0%

**<From Now On>**


- Tell more people about the charm of the Amanbo
- In addition, we will hold an event guided by us, high school students!
- Disseminate information using Social Media!




**Team Hospital Art**  
Yui Ikeda Noa Ozawa  
Kosei Kageyama Syouya Motoyoshi

**SELF INTRODUCTION**

Yui Ikeda  
#Cat lover  
#Solo Travel  
#Sekai Neko Aruki



Noa Ozawa  
#Watching YouTube videos  
#Listening to music  
#crazymagnet



Syonya Motoyoshi  
#Syongi  
#Korean Drama  
#Wanna be able to speak Korean



**A PROBLEM IN DOZEN**

Kosei Kageyama  
#Drawing pictures  
#Design  
#High School Designer



**Medical Field**

**Reasons and Background**  
Lack of medical workers  
→  
Increased burden on medical workers  
+  
Long waiting time for elderly people

Due to this problem,  
our theme is...

**Hospital Art** 🏥🎨



What is "Hospital Art"?

Activities to make  
medical environment  
into a healing space

Western countries have had  
Hospital Art for over 20 years!!!


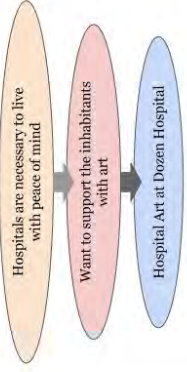




~Countries Where Hospital Art is Thriving~  
UK  
USA  
Canada  
Australia  
Sweden



Paint Hospital Walls  
Decorate with pictures






<p style="text-align: center;"><b>PRACTICE</b></p>	 <p style="text-align: center;"><b>Visit to Ama Clinic</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>Through visiting Ama Clinic...</b></p>	<p style="text-align: center;"><b>Interview with medical workers at Ama Clinic</b></p>
<p>Q. Concerning medical care in Dozen, how can we cooperate? A. You high school students should be careful to not get injured or get sick. You can send information that makes local people feels more relaxed by using high schoolers' words, thoughts, and feelings.</p>	<p>Q. Do you have any advice for our Hospital Art Project? A. Yes. It would be good if it's colorful and comfortable, so as to not darken the mood and harm someone. Also, it shouldn't be too fluffy.</p>	<p>There are many local people who want to stay healthy ⇒ Many people come to see the doctor ⇒</p>	<p style="text-align: center;"><b>"Why don't you decorate with high schooler-like, cheerful pictures that have vitality at Ama Clinic?"</b></p>
<p style="text-align: center;"><b>Hospital Art at Dozen Hospital</b></p>		<p style="text-align: center;"><b>Production of Hospital Art (1 work per person)</b> ⇒ Decorate with these works at Dozen Hospital</p>	<p style="text-align: center;">From our classmates and teachers... <b>What Hospital Art should have</b></p>
			

<p><b>Yui Ikeda</b></p> <p>Theme: summer and goldfish. It shows clarity with watercolor. The aim is that people feel nostalgia and coolness. 【Reaction】"I can feel the coolness. That is nice picture!"</p>		<p><b>Syouta Motoyoshi</b></p> <p>The photograph is of summer in Ama. It shows that mountains and the sea coexist here. This scenery is unique to Ama Town. 【Reaction】"The angle is excellent! I felt at ease."</p>	
---	---	---	---

<p><b>Noa Ozawa</b></p> <p>Theme: summer Sunflowers mean brightness, and white birds mean positivity. It brings out kindness overall using color pencils. 【Reaction】"It shows that the picture's author is kind. I think the author cares about the background of this. The impression of the sunflowers is weak."</p>	<p><b>Kosei Kageyama</b></p> <p>What do I think is beautiful? → A butterfly. I devised its design to calm people who come to see the doctor with complex thoughts. 【Reflection】"I feel it's fantastic and heterogeneous. It's beautiful."</p>		<p><b>As a whole...</b></p> <p>People feel relaxed by looking pictures and photographs. We were able to feel high schooler's power from these.</p> <p style="text-align: center;">➔ Good Effect</p>
--	---	---	---

 <p><b>SUMMARY</b></p>	<p>From now on...</p>	<p>We'll display our pictures at Ama Clinic. The theme is "VITALITY".</p>	<p><b>THANK YOU FOR LISTENING!</b></p>
--	-----------------------	---	--

**Create a guidebook for immigrants !**

Members: Mahiro Iroha Toshiya Yulara



Population: about 2300 people  
Migration: about 20%



Migrants are in trouble.

Not enough information for migrants?

Let's make a guidebook !



**Just Google it.**

What are we going to do...

**Conduct a survey.**

Learned something new.

Guidebooks ≠ bus schedules, maps

Think outside the box.

1 How Ama people spend their holidays  
2 Ama people's shopping conditions  
3 Ama people's gourmet food

Second survey!

1 How to spend your holidays in Ama Town  
2 Favorite stores and restaurants  
3 Advice for immigrants  
1 Troubles in life in Ama Town




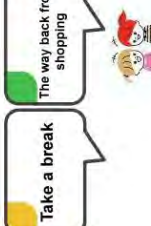






Uploaded.



You'll never know until you live it.





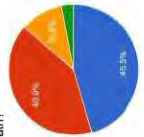
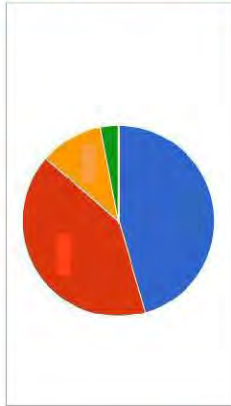
<p>High School Information to the Community!</p> <p>Dream Research Group 4</p>	<p>Our project is:</p> <p><b>Making students closer to the community</b></p>	<p>Why was this assignment given?</p>	<p><b>1</b></p> <p>In this day and age, we're less involved in the community than usual.</p> 
<p>Community events, canceled due to the coronavirus.</p>  <p>Decreased interaction</p> <p>fewer connections</p>	<p><b>2</b></p> <p>There is no free space in the Dozen area where you can drop by.</p> 	<p>Take a break</p> <p>The way back from shopping</p> <p>I want to talk to someone.</p> 	<p>Creating a facility where young people and the elderly can casually interact.</p> 
<p>What!</p>  	<p>That's...</p> 	<p>It's a footbath!</p> 	<p>Let's build a "footbath" in Ama Town!</p> 
<p>Few places where you can casually stop by.</p> <p><b>reasons</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Only people who have business to attend to will go out.</li> <li>Not many people walking around.</li> <li>I don't know what high school students do.</li> </ul> <p><b>考察</b></p> <p>Places where you can rest near the high school will be in demand due to students and tourists.</p>	<p>How can I make it?</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>Take a survey to see if footbaths are really necessary.</li> <li>Think of a plan for a footbath.</li> <li>Divide into mission, vision, and values.</li> <li>Discuss budget, blueprints, how to maintain, etc.</li> </ol>	<p>Take a survey to see if footbaths are really needed.</p>	<p>Surveys, both on paper and digital, were given on campus, at junior high schools, and at local businesses and welfare facilities.</p>



**Questionnaire Results**

Q. Would you like to stop by a footbath?

- Very much!
- I think so.
- I don't think so.
- Not at all.


**Questionnaire Results**

Q. Reasons for choosing "not really" or "don't think so"

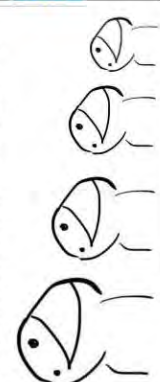
- I don't like that there are so many different people there.
- Not interested.
- I don't want to soak in the same water that everyone else is in.
- It's unclean.
- Someone else's sweat is disgusting.

**Hygiene concerns**

people supported us in building a footbath.



All right! Let's make it!



**2** Thinking of a plan for the footbath.



**3** Divide into mission, vision, and values.

- Vision... Ideal image
- Mission... Duties that must be fulfilled
- Value... The value I want to protect


- vision** A place for the community to love.
- Mission** To be clean and easy to access.
- value** Cherish the unique character of Ama Town

**Decided on mission, vision, and values.**

- Who is this for?**
  - High school students, local people, tourists
- What kind of footbath do you want to make?**
  - People in the community will like it.
  - Easy to come by

**4** Discuss budget, ~~budget~~, etc.

just a minute



It's not real.



The footbath wasn't made.



—Why I couldn't do it—

- 1 Difficult to raise funds, build, etc.
- 2 Difficult to deal with hygiene due to COVID-19
- 3 As students, we couldn't take on the responsibility.

**That's it!**



Let's change our theme!

SNS

**Social media is available around the world.**

**There is a limit to the physical distance, though.**



Discovering new themes!!

Matching high school students who want to help with those who need help

**2** Helping local people and businesses

Students on the island do not receive information about community activities.

We want to eliminate the information gap between students from outside the islands and students within the islands.

**1** The island is seriously short of manpower.

Interview with the office

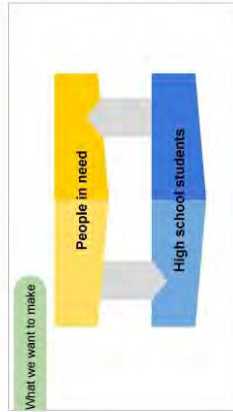
Ento (The only hotel on the island)

Linen Factory (inn's dry cleaner)

CAS (Frozen storage)

Let's do an interview!

**Is there really a demand for it?**



Using facebook

We asked high school students also!

About 40 people wanted to use it.

"Thanks for recruiting on social media!"

"Sounds fun!"

"I'd like to use it if it exists."

Kyoushou Nursery School

Ama Town Reproduction Cooperative (Association Dispatch Office)

Schedule from October 11th  
-Until Oct. 17: high school students invited  
-Until October 23rd: Invitation to the project  
-Until October 29: Ama Town connection announcement  
-November: operation begins

We will aim to begin using it by November.



## Group 5 Members

**Group 5**

1. Kyosuke/A dependable leader

2. Midori/A comforting presence

3. Saya/A woman who works fast

4. Koki/A man who always makes us smile

## Problem Solving

Surprisingly, the community and high school students do not know each other very well.

Local people

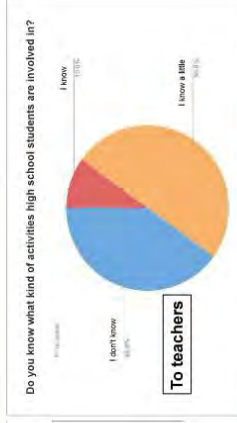
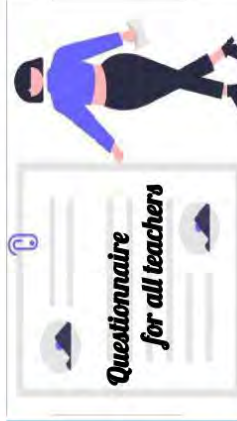
- "What do high school students usually do?"
- "When I talk to high school students, I don't know what they're interested in."

High School Students

- "What do local people usually have trouble with?"
- "How can high school students get involved in the community?"

## What'll happen?

By deepening mutual recognition



In fact, **even teachers don't know** much about the activities of high school students.

**Naturally local people never know.**

We want to create a tool

Let's make a bulletin board!



# Question



- ① Is there a gap between what we students feel and what local people feel?
- ② Many people may not see the board.

# Street Interview



# PR Magazine



## Group 7 Members



### Group 7

- Akito: the man who says "no" but does the most work
- Kouki: The man with the smug look on his face
- Naasya: The woman who unites everyone together
- Kyouka: The woman who gives more nice ideas



## Problem Solving



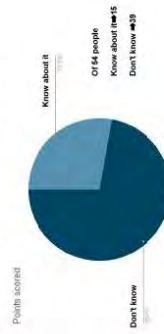
We don't think that the local people know about our activities as a class!

# Our Solution

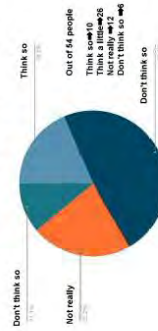
To publish High School News...



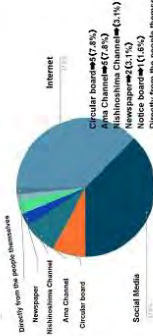
Have you ever heard of a course called 'Dream Quest'?



Would you like to know what we do at Dream Quest?



To those who answered "yes" or "a little" to the question "When asked, "How would you like to find out more about the work of high school students?" When asked...



# Creation of a public relations magazine

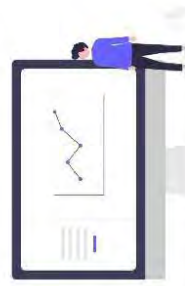
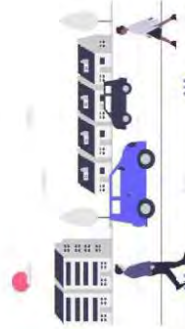
Group 5 Community Activities and Dormitory Life

Group 7 YUMETANKYU (career education classes)



# Future Activities

# Conclusion

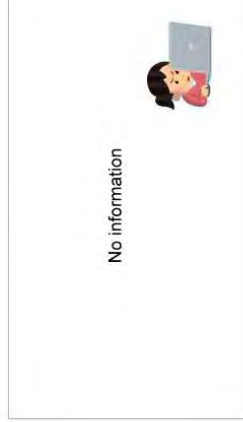
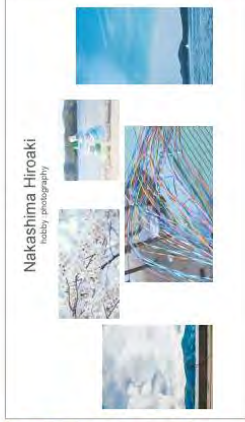


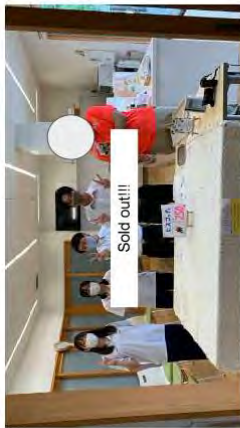




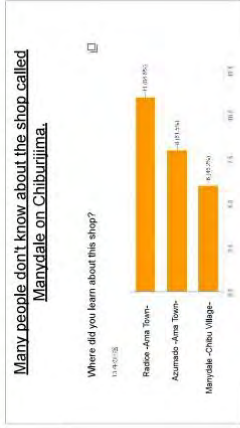
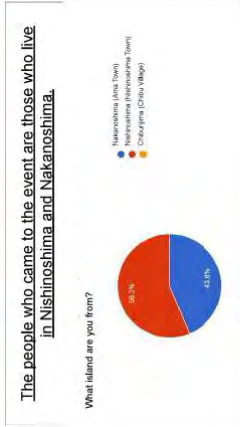
We will continue to do our best to let the local community know about the activities of Dozen students!



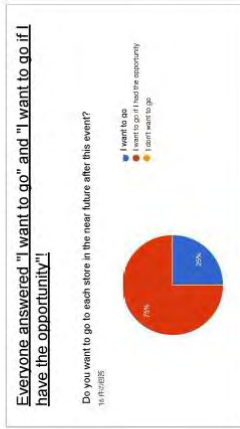




[[Many people don't know much about shops on the islands where they don't live.]]



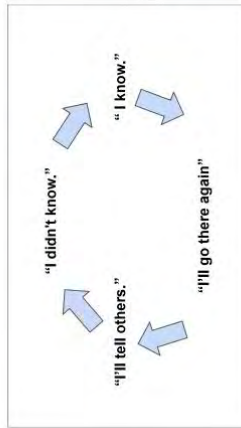
[[Actually, there is little information between islands.]]



"I don't go" because "I don't know."

《Their opinions》

- "This event gave me a chance to get to learn about shops on other islands."
- "I want to go to shops on other islands next time."
- "I want the shop to have mobile sales in the future."





**Team**  
**We wanted to go to Singapore**



**Members**  
 Taki Ito Honoka Fujita Hikaru Kitamura Aigena Kiyokawa

**Theme**  
**Land utilization**




**in Uzuka**  
**in Nakazato**

**Researching vacant houses**



**in Uzuka area**




**Nakazato Area**

There are few vacant houses.  
 So,  
 Our team thought the district is prospering.

**Uzuka Area**

The district has some vacant houses.  
 There are few houses that can be used immediately.



💰 + permission from the former owner of a vacant house  
 +  
 Permit the local government office

However...  
 It wasn't a problem we could solve.  
 It was too difficult for us.



**Hard-to-use places in Ama**  
 +  
**Places and lands that can be utilized**

We are going to use vacant houses in Ama Town.  
 in need/want to use  
 attract attention on the island, throughout Japan, as well as other countries

As a Result  
 easy to get together  
 and  
 liven up



**Let's make the grassy area behind the learning center a lunch space!**



1. Get permission from the learning center and local government office  
 2. Removing the grass



3. Recruitment of people to weed together  
 4. Removing the grass on September 20th



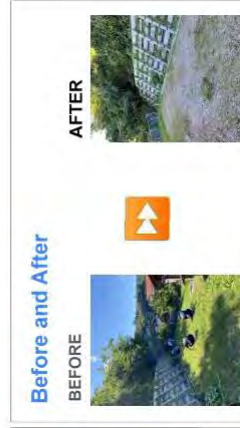
Removing the Grass on September 20th




※We removed our masks while we worked.

**Before and After**

BEFORE



AFTER



Participants' Thoughts

Sense of Achievement

Smiles

Chance

Make use of it  
in future activities

Removing the grass

make pizza

repetition!!

Sense of Accomplishment

Looking back on our  
YUMETANKYU  
activities

Cooperation

Schedule adjustment

People who take leadership  
and follow



**Ama's Foodstuffs**  
x  
**Purchase**

Aoba Yamashita, Tomohiro Inoue,  
Yoshin Yokodana, Misy Punaki

Oki's grapes  
Mr. Yamatiji's grapes

Oki's head of beef AS rank!!  
Oki Beef

Oki is the place to find turban shells

Ms. Shihō's daitoku

**Do you usually eat food from the island?**

21.5%  
30.4%  
27.6%  
19%

eats often  
eats occasionally  
doesn't eat much  
doesn't eat at all  
I don't know

**Food Fes AMA**

**Objective:**

- To encourage students of Oki Dozen High School to eat Ama's food.
- To spread information about the farmers who produce the food and the stores that sell locally grown food.

Mr. Müller  
Mr. Yamatiji  
Mr. Shirahishi

Farmers in Ama Town

Jozen High School Students

Ama Town Stores

Saki Cafe  
AdumaDou

**Farmer Profile**

mandarin oranges & Japanese Chestnut - Mr. Shirahishi

vegetable farmer Müller's Farm

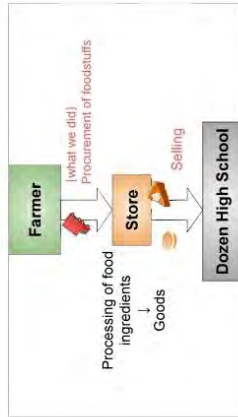
grape farmer: Mr. Yamatiji

**Store Profile**

Saki Cafe

Saki's mandarin cafe - Saki Cafe

Bake shop: Aduma Dou



**Food Fes AMA**

**Food Fes AMA Day 1 by Saki Cafe**

Mont Blanc Cake

Mandarin Yeast Bread

**Food Fes AMA Day 2 by Aduma Dou**

Carrot Scone

Grape Crumble Cake

Tonanno Lassi

**Food Fes AMA Day 3 by Saki Cafe**

Green Tangerine Cake

Pinkie Focaccia

**Product Satisfaction**

From the first day to the third day, there was 100% satisfaction with the product

The First Day: 100%

The Second Day: 100%

The Last Day: 100%

100% satisfaction

**Questionnaire result of the satisfaction**

The First day

The Second Day

The Last Day

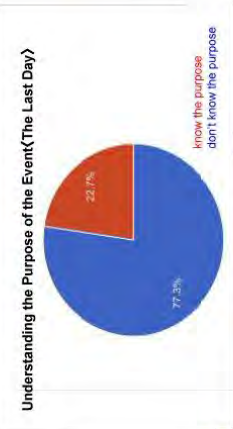
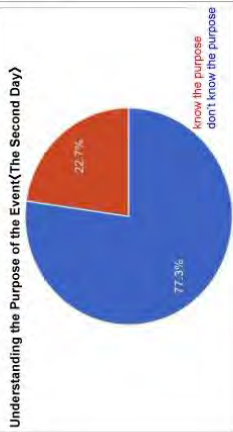
very satisfied  
satisfied  
not satisfied  
not satisfied

**Understanding the Purpose of the Event (The First Day)**

68.4%  
31.6%

know the purpose  
don't know the purpose





Mr. Shirahishi

Mr. Muller

Ms. Ohno

Ogai  
(I'm shy,  
so I won't show my face 😊)

Saki safe

Thank you for listening!

## Yumetankyu Group 10

Yuiko Mizuno   Miku Fukui  
Toki Matsuoka   Hayato Kikuchi

## Members



### Yuiko Mizuno

Birthday : March 31, 2005  
 Age : 16  
 From : Tokyo  
 Favorite food: Bread  
 Fun Fact: I have three dogs.




### Miku Fukui

Birthday : May 7, 2004  
 Age : 17  
 From : Ama Town  
 Favorite things : Listening to music  
 Making sweets  
 Favorite subject : Japanese




### Toki Matsuoka

Birthday : October 4, 2003  
 Age : 18  
 From : Oita (live in Ama now)  
 Singer : Kaneko Ayano  
 Love : cats  
 Food : Chinese food





### Hayato Kikuchi

Age : 17  
 From : Kanagawa  
 Hobby: Fishing




## Our past




## Plan 1



### Create an athletic field for elementary school students




It didn't last...

## Plan 3

### Shrines

We couldn't continue this, either.

Decline in motivation

We can't put any passion into it.

"Isn't it impossible to go on like this?"





### Theme: Beach






This is Rainbow Beach.

### Marine Litter






Put our plan into practice



Can we pick up trash on our own?

⇩

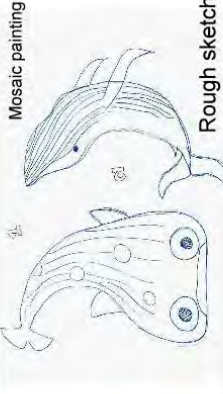
Check with the town office



We cleaned and cleaned and cleaned .....  

 For a long time

Picked up trash, plastics  
 ↓  
 Create mosaic art using bright plastic.  


Mosaic painting  

 Rough sketch


Our first goal is to complete the picture.  



Reflecting on Yumetankyu  



After the painting is completed  


Thank you!!!  


**Group 11**  
Member: Haruka, Suzune, Guy, Tenna

**Introduction**

**Hamasaki Haruka**  
Where I'm from: Aino town

Birthday: 10/27

Hobby: listening music & reading books

Favorite food: Tomatoes

**Kozakura Suzune**  
Where I'm from: Nebinochikawa

Birthday: 9/16

Hobby: Watching Korean dramas

Favorite food: Takoyaki

**Morishita Guy**  
Where I'm from: Australia

Birthday: 1/10

Hobby: Watching world history videos on Youtube

Favorite food: Shishake

**Shioji Tenna**  
Where I'm from: Osaka

Birthday: 3/27

Hobby: Being alone and relaxing

Favorite food: Eggplants & Tomatoes

The flow until our theme was decided:

In the beginning, the theme we first thought of didn't go well and we gave up along the way.

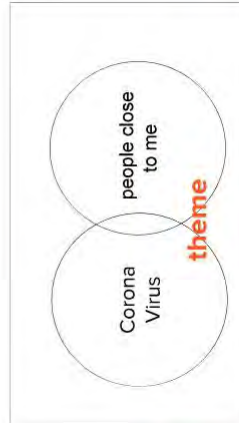
Build a tree house

Design and offer travel tours

We considered our own area and tourism.

But

Due to the Corona Virus situation, everything went wrong, and in the end we gave up halfway.



Therefore!

We want to provide parents with our perspective on daily life at school.

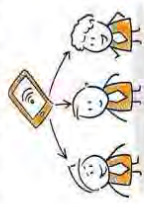


It is difficult to come to the island because of Corona.

For these reasons



We decided to deliver our life at school to parents who are not normally be able to come to school.



Delivering our everyday life to our parents

**Hypothesis**

- State of our daily classes
- State of our daily break time
- State of our daily club activities

**Giving a questionnaire to parents**

① Do you know what your child is doing at school ?

**Hypothesis**

Many people know about it to some extent.

① Do you know what your child is doing at school?  
76 responses

**Result**

There are few parents who know much about it. However, more than half of the respondents do not know.

② Would you like to know what your child is doing at school and what activities they are involved in?

**Hypothesis**

Because many of the children are away from their parents, their guardians do not have access to their daily activities.

↓

Many parents want to know

② Would you like to know what your child is doing at school and what activities they are involved in?  
76 responses

**Result**

A lot of parents want to know.

③ For those who want to know: In what ways would you like information about your child's school and activities to be delivered to you?

**Hypothesis**

Many people want video streaming.

③ For those who answered "I would like to know," how would you like to learn about what your child is doing at school?  
76 responses

**Result**

Many people want us to deliver video, text, and photos.

④ What activities would you like to know about regarding your child?

**Hypothesis**

lessons  
Yumetankyu class  
club activities

④ What activities would you like to know about your child?  
76 responses

- Lessons and Yumetankyu Class
- Recess and relaxing times
- Cultural festival and sports festival
- Club activities
- School activities
- Scenes of dormitory life
- Scenes at the study center
- Activities unique to Dozen High School

**What to deliver**

- The classes we are taking
- How we spend our break time
- When we are doing in our club activities

**After doing the survey**

Video recording of our lessons, club activities, etc.

Video Editing

**Next**

Movie delivery

↓

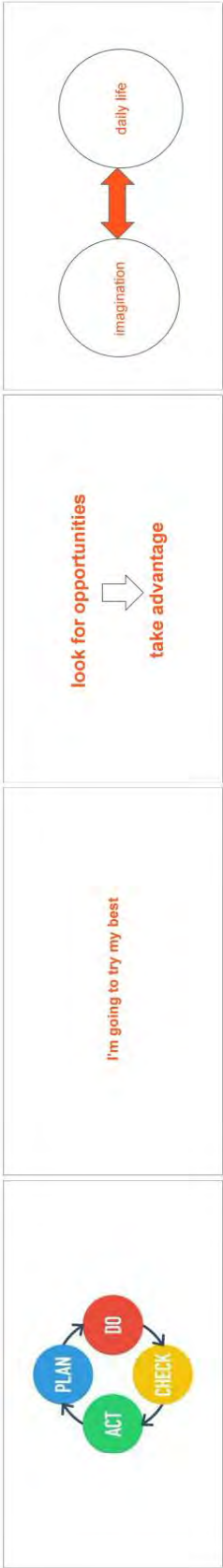
Questionnaire for parents

↓

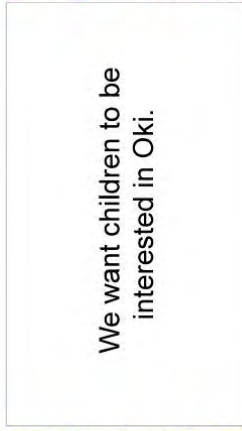
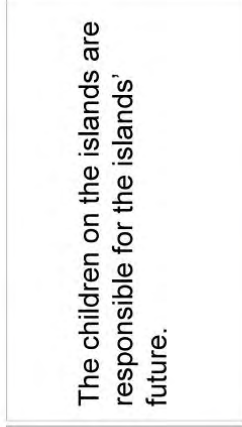
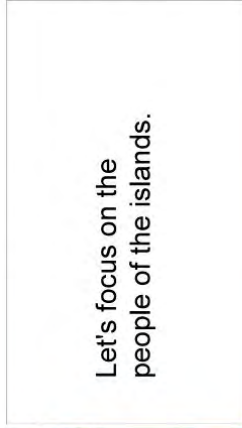
Improve and deliver the videos again

Repeat this cycle

**impressions**







Many parents want their children to play in a natural environment.



We high school students will take part in planning a "shimakko" event in the future.

Shimakko



Get to know about the islands' work and nature

We plan to connect a local temple and children in Nishinoshima.



At this event, we would like to know what the children on the island are interested in.





# Kiji wo taberu Okijin

People living in Oki who eat Pheasant

オキ島で養鶏するおじいさん  
Un habitant d'OK mangeant un faisan

SUZUKI YUZUHA

•FROM YOKOHAMA KANAGAWA



MOGI HARUKI

•FROM: OTA CITY, TOKYO



YAJIMA MOKA

Takamatsu Kagawa



What We Explored

Japanese Pheasant



Why pheasant?



When we were unsure of what to set our theme as...



Our English teacher said,

“Delicious pheasant is found on the islands.”

- There are two main types of pheasants: the kourai pheasant and the Japanese knight.
- The birds were released 50 years ago on Nishinoshima.
- They then crossed over to Aina Town.
- They are omnivores, eats snakes and grains, and is designated as a pest bird



- The male is brave, and the female is symbol of maternal love
- They're Japan's national bird.
- A popular bird among hunters because of its great taste
- While they are the national bird, they are designated as pests.

Decided to Explore

We talked to a pheasant hunter:

- Mr. Kamezawa lives in Nishinoshima.
- Released about 50 years ago
- There's no damage to grain now.



Pheasants are used as food for local needs.

hunting dog



Pheasant hunting demonstration



Talking with a pheasant hunter living in Ama Town



What Mr. Uno taught us:

- There are four pheasant shops in the Dozen area.
- Our English teacher is friends with Mr. Uno.
- There are no pheasants in Chibu, because hunters shoot cattle.

What we learned from the hunters' story.

There's no damage →  
**focus on value creation**

Who to communicate value to

We gave a survey

Contents on the questionnaire:

- Where are you from?
- Are you a student in the community?
- Are you a dormitory student?
- Have you ever eaten pheasant?

Survey results...

- Most of the students had never eaten pheasant before
- More than half of the respondents think that eating pheasant would like to try it.



Isn't it important to let the local people know that pheasant is delicious?

We decided to target the local population.

Organise a cooking class for the locals!

Shimashoku no terakoya

What is Shimashoku no Terakoya?

- It's a cooking school that was built in 2018.
- Five students live in a dormitory and learn to cook for a year.



- Ask the hunter to provide us with pheasant
- Hold a cooking class with advice from the hunter
- Local people can learn about pheasants and the hunter
- They can discover the charm of pheasants

But COVID-19 makes it impossible to hold cooking classes

Instead of organizing a cooking class

- A hunter gives us a pheasant
- We'll make our own pheasant dishes
- Write a report on how it how
- Advertise through town announcements and on the town's website.

Looking back on our activities to date

- We were able to **provide new value** within the Dozem region which **already has so much to offer**
- I got to talk to people I don't normally get to talk to, and I had a lot of experiences.
- We had fewer members than the other groups but **we were able to do activities that were unique.**



**Thank you for Hosting**



**Okimeshi**

**① about us**

① About us

Mei Tosaka   Sai Mueller   Burenjargal   Arata Tokuhira

**② Until Today**

② Until Today

290days → now

start

② Until today

Other things   Okimeshi

② Until Today

② Until Today

② Until Today

**Okimeshi**

**③ What is Okimeshi**

③ What is Okimeshi

③ What is Okimeshi

**1. Things to do for Okimeshi**

③ What is Okimeshi

① Go to the Islanders' homes to interview them.

③ What is Okimeshi

like pictures   ask questions   like posts

③ What is Okimeshi

② Post the contents of the interview on Instagram.

③ What is Okimeshi

③ Spread to many people.



What is Okimeshi

### 3.Objective

What is Okimeshi

### 1 Pass on the tradition

What is Okimeshi



What is Okimeshi

### 2 Spread the ingredients of the Oki Islands

What is Okimeshi



What is Okimeshi

- 1.there are a large number of users
- 2.we can post pictures as well as text
- 3.spread it to many people

### 4 Result

Result

1 post  
53 followers

Result



### 5 Future

Future

- 1. continue posting
- 2. utilize hashtags

Thank you !



# Team 15

Shido Nanako Natsuko Mauta

## Shido Nomura

**Born** in Fukuoka  
**Raised** in Fukuoka & Chibu  
**Now living** in Chibu  
 (one of the Oki Islands)  
**Club:** Tennis  
**Favorites food:** Pork outlet on rice  
**Favorites phrase:**  
 "This is the end of the class!"



## Nanako Hayashi

**Born & Raised** in Tokyo,  
**Now living** in Ama (dorm)  
**Club:** Regional & International  
 exchange club  
**Favorites food:** Sweet potatoes  
**Favorites phrase:**  
 "It's lunch time!!"



## Mauta Iwanaga

**Born & Raised** in Tokyo,  
**Now living** in Ama (dorm)  
**Club:** Basketball club  
**Favorites food:** Anko (red bean paste)  
 and Sushi  
**Favorites phrase:**  
 "Thank you!!"



## Natsuko Isotani

**Born, Raised and Now living** in Ama  
**Club:** Tennis  
**Favorites food:** Korean foods and pear  
**Favorites phrase:**  
 "Smile :)"



charms of Ama  
 ↓  
 our activities



- To promote the charms  
 of Dozen to the World -

Action #1  
 - Interview -

why we chose this theme



"the blue guide"  
 - a French guide book



a French movie, "Kokoro"  
 - filmed in the Oki Islands

Not many visitors  
 from China



what we learned from the interview

# 1. There are tourists from all over the world



# 2. Telling the world about Dozen  
 will lead to an increase in foreign tourists.





How could **we**, as high schoolers, tell the world about Dozen?



What we were trying to include on the website

- the names of places (hotel, restaurant, store)
- transportation (bus routes, time, etc.)
- sightseeing spots
- open hours
- access map
- creating an introduction video

etc.



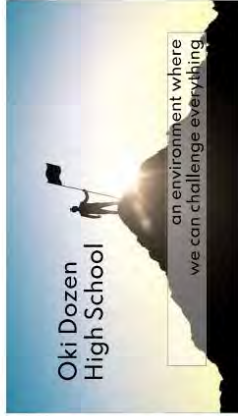
- The problem we faced -

We want to do something only we can do because we live in Ama and go to DHS, **but**, what can we do...???

Action #2  
- Getting feedback from Ama Town Tourism Association -

Gaining foreigners' **interest**

letting people know  
→  
**letting them know + getting them interested**



We think that DHS is attractive, sharing the charms and features of DHS to the world

↓

gaining foreigners' interest

"Promoting the charms of DHS to the world"



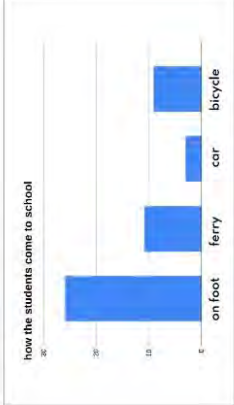
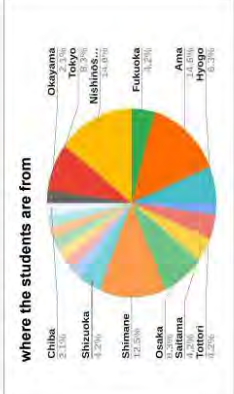
**- sharing our DHS life -**

#1 an article to introduce DHS	#2 report on a survey for DHS students
--------------------------------	--

report on a survey for DHS students

**Action #3**

**- giving a survey -**



The survey helped us realize the diversity of the students in DHS

**ways to share**

asking Ama Tourist Association for help  
↓  
getting our article attached on their website  
↓ ↓ ↓  
sharing with the world

**Do you have any good ideas?**

Please give us some advice if you have any

what we will do next

**Reflection as a team**

**Reflection as a team**

we are good at taking actions

[ points we need to improve on ]

**#1**

**to have a productive time**

↓ ↓

Always having a goal in mind for every class

**#2**

everyone of us sharing our thoughts with each other

↓ ↓

Accepting each other's opinions without starting by denying them

**Our goals**



**Next step**

Thank you for listening :))